2027年度

一般選抜（前期日程・後期日程）
学 生 募 集 要 項

教 育 学 部

法　学　部

経 済 学 部

医　学　部

創造工学部

農　学　部

2026年11月

香　　川　　大　　学

2027年度　香川大学入学者選抜日程の概要

大　学　入　学　共　通　テ　ス　ト

本試験　　１月16日（土）・17日（日）

追試験　　１月23日（土）・24日（日）

前　期　日　程	後　期　日　程
出　願　期　間　（前期日程，後期日程） １月25日（月）～２月３日（水）	
医学部医学科 第１段階選抜合格者発表日 ２月10日（水）	
学　力　試　験　日 ２月25日（木） ※医学部(医学科)のみ２月25日(木)・26日(金) ※医学部(臨床心理学科)の試験日程は，受験者数によっては翌日にわたる場合があります。	学　力　試　験　日 ３月12日（金）
合　格　者　発　表　日 ３月６日（土）	合　格　者　発　表　日 ３月22日（月）
入　学　手　続　期　限 ３月15日（月）	入　学　手　続　期　限 ３月27日（土）

目　　次

Ⅰ　入学者の受入方針……1
Ⅱ　募集人員……19
Ⅲ　出願について
　１．出願資格……21
　２．出願手続……23
　３．選抜方法……32
　４．教科・科目に係る個別テスト等の日時及び場所……53
　５．合格者発表……56
　６．入学手続……56
　７．追加合格について……57
　８．追加合格の情報等について……57
　９．欠員補充第２次募集について……58
　10．入試情報の開示について……58
　11．障害等のある入学志願者との事前相談について……60
　12．出願資格審査について……61
　13．個人情報の取扱いについて……61
　14．その他……62
　15．一般選抜に関する照会……62
Ⅳ　試験場案内図
　１．香川大学試験場案内図……63
　２．香川大学建物配置図……64
　３．香川大学関西地区試験場案内図……67
　４．香川大学関西地区試験場建物配置図……68

Ⅰ　入学者の受入方針

香川大学は，「世界水準の教育研究活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献する。」という大学の理念にふさわしい学生を求めています。

各学部，学科・課程の具体的な入学者の受入方針は次のとおりです。

教 育 学 部

１．教育理念

香川大学教育学部は，学校教員をはじめとする教育者を養成し，広く教育界に貢献することを理念とします。今日の学校教育の現場には，急激な社会の変化の中で，教科に関する新しい学力をどのようにつけるか，子どもたち一人一人の自己実現をどのように支援できるかなど，人間形成に関するきわめて重要な課題があります。また急速な少子・高齢化，情報化社会の進展，切実さを増す環境問題，多文化社会における共生の在り方などの問題は，生涯にわたる教育の必要性と新たな教育的課題を生み出しています。このような教育に関する課題に柔軟かつ積極的に対処できるように，人間の発達・形成に関する教育研究を基礎に，教育に関する総合的な教育研究を行い，教育実践力を有する学校教育教員及び広く教育界で活躍できる人材の養成を目指します。

２．教育目標

教育学部では，その教育理念に基づき，豊かな人間性と教職への強い使命感をもつとともに，社会の変化やニーズを適切に踏まえ，学校教育が抱えるさまざまな現代的教育課題に協働して対処することができる，専門的知識と実践的指導力を備えた教育者を養成します。

３．教育内容

教育学部では，学部の教育目標に沿った４年間一貫教育を行っています。

１年次は各コースに所属し，全学共通科目と学部共通科目を中心に学び，教職に関する基礎とともに，自分の興味や関心を探求し視野を広げます。２年次以降は，より実践的で専門的な授業科目を履修していきます（小学校教育コース及び中学校教育コースでは，２年進級時に所属する領域等を決定します)。特に３年次以降の教育実習を中心として，教科内容の学習や教科外の諸活動を行う中で，それぞれの課題を発見し，解決する能力の育成を目指しています。４年次の卒業研究では，それぞれの具体的な課題に取り組み，専門分野の総合的学力を高めます。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊学校教育に携わる上で基盤となる論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊学校教育に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊様々な課題にチャレンジする積極性を持ち，経験の積み重ねを通して将来へのビジョンの構築に努める能力

⑤倫理観・社会的責任

＊教育者を目指す者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

ボランティア活動や学校内外での諸活動で教育に関する何らかの実践を経験するなど，子どもの理解と教育に携わる意欲を持ってください。

教育者を目指す者として他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要とされるので，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．入学者選抜の基本方針

一般選抜は，高等学校での教科面における学習の達成度を測る試験を通して，学校教育教員を目指す上で必要となる学力・能力・資質についてみることを目的としています。

大学入学共通テストは，６教科８科目又は７教科８科目を課しています。

＊前期日程

幼児教育コース及び小学校教育コースでは，学力試験（国語，英語，数学，理科）又は実技試験（音楽，美術，保健体育）から１科目選択し，得意な教科に関する達成度（知識・技能，及び思考力・判断力・表現力）を評価します。

中学校教育コースについては，受験教科によって A 系（国語又は英語），B 系（数学又は理科），C 系（実技：音楽，美術又は保健体育）の三つの系を設けて教科の専門性（知識・技能，及び思考力・判断力・表現力）をより重視して評価します。さらに，全てのコースにおいて集団面接を行い，教職を目指すうえで必要なコミュニケーション能力を中心とした適性及び教職志望の強さを評価します。

＊後期日程（幼児教育コースを除く）

いずれのコースにおいても集団面接を行い，教職を目指すうえで必要なコミュニケーション能力を中心とした適性及び教職志望の強さを評価します。

法 学 部

１．教育理念

香川大学法学部は，四国で唯一の国立大学法学部であり，高等裁判所をはじめとする重要な官公庁の位置する地の利を活かし，全国的にも高い評価を受ける教育研究を行うことを目指しています。

香川大学法学部は，開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民を育てます。さらに，法学的素養を備えた専門職業人を養成します。

２．教育目標

香川大学法学部では，その教育理念に基づき，開かれた自由で民主主義的な社会を支える公共的市民，法学的素養を備えた専門職業人を育成します。すなわち，世界の多様性とそこから生ずる諸問題を把握し，その解決に向けての法律学・政治学の基本的理念の知識を適切に用いて自他の尊厳を守ることができる人間を育成します。

３．教育内容

このような教育目的を達成するために，基礎から比較的高度な内容への段階的履修，ゼミナールを中心としたきめの細やかな少人数及び双方向の教育，希望する将来の職業に応じて重点の異なる法律職コース，公共政策コース及び企業法務コースの３コース制による教育を実施しています。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識及び技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊物事をさまざまな角度からとらえ，筋道を立てて考える能力

＊紛争解決及び政策立案のために必要な論理的な思考力と判断力

＊文章や議論の中で自分の意見を積極的にかつ説得力を持って表現できる能力

＊相手の意見からも学び，議論をリードし発展させることのできる能力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊正義と衡平を追求しそれらを社会に実現しようとする意欲と態度

＊現代社会の動きに常に関心を持ち，書物や新聞を通して，広く社会で生じていることに対する問題意識を深め，自分の意見を形成できる能力

⑤倫理観・社会的責任

＊社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解し，自律的に行動できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学部に入学を希望する人は，入学後の教育に対応できる素質を養うため，高等学校において文系・理系にとらわれない幅広い学習をしてください。高等学校で学ぶことは，大学教育の前提となるものです。まずは英語及び国語の基礎的な能力を身につけて，国際的な視野と多様性への理解，思考力・表現力を養ってください。また法学・政治学は社会科学ですから，地理・歴史や公民など社会科の科目で学んだ知識も入学後の学修内容と深く結びつきますので理解を深めてください。さらに数学や理科の学びによって培われる論理的思考力は，法学・政治学の理解や様々な課題解決を考える上で重要です。このような高等学校における幅広い学びを通じて，法学・政治学の教育の前提となる知識や思考力・表現力を修得するとともに，社会

の出来事に対する問題関心・意欲を身につけ，多様性を尊重し他者と協働することの重要性と，社会の構成員としての倫理観・社会的責任を理解してください。

５．入学者選抜の基本方針

＊前期日程

大学入学共通テストでは，６教科８科目又は７教科８科目を課し，大学入学までに修得が期待される内容で示した基礎的な学力・能力・資質等（知識・技能）を評価します。教科・科目に係る個別テストでは，数学を通じた論理的思考力又は英語を通じた思考力や表現力，多様性への理解度を評価します。

＊後期日程

大学入学共通テストでは，６教科８科目又は７教科８科目を課し，大学入学までに修得が期待される内容で示した基礎的な学力・能力・資質等（知識・技能）を評価します。教科・科目に係る個別テスト等では，小論文を通じて高い論理的思考力と表現力，社会の出来事に対する知識や問題関心・意欲，多様性への理解度を評価します。

経 済 学 部

１．教育理念

香川大学経済学部は，経済や経営に関する世界水準の研究教育活動により，創造的で人間性豊かな専門職業人を養成し，地域社会をリードするとともに共生社会の実現に貢献することを理念とします。学士課程では，豊かな人間性と高い倫理性の上に，幅広い基礎力と経済や経営に関する専門知識や多様な価値や文化に対する深い理解に支えられた課題探求能力を備え，国際的な視野で地域社会において活躍できる進取の気象と共生の精神に富んだ教養豊かな経済人を育成することを目指します。

２．教育目標

経済や経営に関する専門知識を活かし，多様な価値や文化に対する深い理解を背景として，国内外で活躍できる力を身につけます。

【専門分野に対する優れた能力】

経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関するさまざまな現象から，自ら課題を発見し，それを探求・解決するための専門的知識を学びます。さらに知識を活かすには実務的な処理能力を兼ね備えている必要があります。理論と応用が有機的に結合した実行力を身につけます。

【経済人としての幅広い視野】

現代社会が求める経済人は，柔軟な視野にたち，コミュニケーション能力を備え，社会と積極的にかかわることのできる人材です。世界の諸文化について幅広い知識を持ち，多様な価値観を理解できるようにします。

【情報を分析し発信する能力】

今日の社会は複雑化した経済情報，国境を越えた世界中のあらゆる情報に満ちあふれています。必要な情報を迅速かつ的確に収集し，分析する能力を身につけるだけでなく，自ら情報を発信する力を身につけます。

３．教育内容

経済学部学生が学ぶ授業科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は，主に１年次の全学学生を対象に開設される教養教育科目です。学部での専門教育を受けるために必要な基礎的学力や学習の方法，他の分野の幅広い知識や考え方を身につけます。

「学部開設科目」は，学部学生を対象に開設する授業科目です。学部開設科目は，課題探求能力や実務処理能力を身につけるための科目であり，各専門分野を体系的に学べるように授業科目を用意しています。学部教育の根幹科目として，３年次履修の「演習」及び４年次履修の「卒業論文」を必修科目としています。

また入学後に，各学生は自分の興味・関心・適性，将来の進路等を考慮して，以下の５コースのうちからどれか一つを選択し，より専門性を深めるための科目を中心に学んでいきます。

【経済・政策分析コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学の理論的・実証的手法を体系的に修得し，複雑な経済現象の本質を論理的思考に基づき理解する能力を養います。その上で，人びとの幸福の達成に向けて，経済のメカニズムを分析し，日本経済及び世界経済の課題やそれに対する政策の検討を行います。さらには，提言を行うための課題探求・解決力，コミュニケーション力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員，自治体･企業の調査分析部門

【会計・ファイナンスコース】

（学修する内容と身に付ける力）

財務会計，管理会計，会計監査等の会計学分野について，主に企業行動を対象に段階的かつ網羅的に学ぶことで会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力を身につけます。また，金融論，保険論及び財政学の分野について，政府の政策や企業行動を対象として学修することで，ファイナンス領域に関する深い理解力と洞察力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

金融機関，企業における経理部門・財務部門，会計ファイナンスの能力を生かせる官公庁（国税庁など）

【経営・イノベーションコース】

（学修する内容と身に付ける力）

戦略と組織，マーケティング，イノベーション，企業の社会的責任など，経営学に関わる幅広い内容を学修します。また，ビジネスの視点から問題解決にあたり，新たな価値を創造する上で必要となるコミュニケーション能力，課題探求・解決能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

民間企業（製造，卸・小売業），官公庁・金融機関等における創業支援・経営支援の業務，起業

【観光・地域振興コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済学・経営学をベースに，観光学，地域活性化論等により地域振興・経済活性化に向けた観光資源等の活用方策を考える基礎的能力を身につけます。さらに，観光に必要な調査法やフィールドワークにより，地域振興に必要な実践的能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

公務員（観光振興，地域振興），公益法人等（JA，生協，商工会議所），観光業，地場産業等の企業

【グローバル社会経済コース】

（学修する内容と身に付ける力）

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため，経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学修します。その上で，世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。

（想定している卒業後の進路等）

国内外の企業（国際部門など），公益法人（JICA など），NGO，新聞社などのメディア

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊経済の仕組み，企業の活動，世界の社会・歴史などに関する専門性の高い学問を学び，研究活動を実践するための，高等学校等における幅広い学習に基づいた知識・技能・理解能力

②思考力・判断力・表現力

＊経済・社会におけるさまざまな現象において，解決を必要としている問題を発見・探求し，自分の考えを論理的にまとめて，他者にわかりやすく伝える思考力・判断力・表現力

＊情報伝達の高度化・迅速化が進む社会において，必要な情報を収集・分析し，自ら情報を発信することができる能力

③主体性・多様性・協働性

＊柔軟な視野にたって社会と積極的にかかわり，コミュニケーション能力を備え，多様な価値観を理解できる主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊経済・社会に関するさまざまな現象に興味を持ち，従来の考え方にとらわれず積極的に新しい物事に取り組んでいこうとする関心・意欲・態度

⑤倫理観・社会的責任

＊グローバル化する社会において，地域に根ざしながら世界と連携し共生するために，自己が果たすべき社会的責任や備えるべき倫理観を理解し体現する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において学ぶ，英語，数学，国語を中心とした基礎学力を身につけて

いることが必要です。英語の基礎学力は，大学において，国際的なコミュニケーション能力を本格的に養うために必要です。数学の基礎学力は，数学的な推理能力や論理的な能力を必要とする専門科目の講義を受けるために必要です。国語の基礎学力は，講義やゼミナールで文献を読んだり，レポートを書いたり，自分の意見を発表するために必要です。また経済・社会に対する関心を高め，論理的思考力を養うために普段から新聞を読んだり，読書習慣を身につけたりすることも重要です。さらに主体性・多様性・協働性を養うために，文化活動，スポーツ活動，生徒会活動，クラブ活動，海外留学体験，ボランティア活動などに励むことも推奨します。加えて，国際的なコミュニケーション能力を養ったり，数学的な能力を培ったり，実務的な処理能力や教養を高めたりするために，英語検定，数学検定，簿記検定，漢字検定などの検定や資格の取得に励むことも推奨します。

５．入学者選抜の基本方針

＊前期日程

知識・技能・理解能力を重視することから，大学入学共通テスト６教科７科目の成績を評価します。教科・科目に係る個別テストでは記述式の英語の試験を行い，思考力・判断力・表現力や国際的なコミュニケーション能力を評価します。さらに，多様な人材を受け入れるために，大学入学共通テストの国語・数学・外国語の配点が異なる２つの配点方式を併用した総合順位方式によって評価します。

＊後期日程

知識・技能・理解能力を重視することから，大学入学共通テスト６教科７科目の成績を評価します。教科・科目に係る個別テスト等では小論文試験を行い，思考力・判断力・表現力や経済・社会に対する関心・意欲・態度を評価します。特に資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点を評価します。さらに，多様な人材を受け入れるために，大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の配点が異なる２つの配点方式を併用した総合順位方式によって評価します。

医学部（医学科）

１．教育理念

香川大学医学部医学科は，①幅広い教養と高い倫理観を備えた人間性豊かな医師・医学研究者，②自ら課題を探求し，それを解決できる高度な専門知識と技術，科学的思考力，判断力を備える医師・医学研究者，③地域に根差した医療人として地域医療に貢献し，地域における医学・医療の中核としての指導的役割を担うことができる医師・医学研究者，④国際交流や国際貢献のための幅広いコミュニケーション能力と国際的視野を持った医師・医学研究者を育成することを目指します。

２．教育目標

教育理念に掲げる医師・医学研究者の育成のために，次の能力及び態度を養成します。

① 医師・医学研究者として適切なコミュニケーションの実践及び世界標準の医学・医療に関する情報収集に必要な言語運用能力

② 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養と医学・医療に関する基礎的知識と技能
③ 自ら問題点を見出し，解決する能力及び生涯を通じて自己主導型学習を実践する態度と習慣
④ 社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性，医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感
⑤ 医療・保健・福祉に関する地域理解及び地域医療への関心

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

全学共通科目において21世紀型市民としての幅広い教養と社会性・倫理観，地域理解及び国際的言語運用能力を育成します。学部開設科目において，医学・医療の基盤となる自然科学領域と医学領域の知識と技能を養成するとともに，医師・医学研究者としての倫理観・使命感・責任感及び地域医療への関心を涵養します。

階層的カリキュラムを実質化するため，年次ごとの進級要件を定め，年度末に厳格な進級判定を行います。４年次末においては，全国共通の共用試験の合格も進級要件に含まれます。臨床医学の修得に関する評価は６年次に卒業試験として行い，卒業判定に用います。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊医学の専門知識と技能を修得するための基盤となる，高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

②思考力・判断力・表現力

＊情報の収集と評価，それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力，及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え，実行に移すための表現力

③主体性・多様性・協働性

＊医学に関する問題を自ら抽出し，多面的な視点から考察し，他者と協力して問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

④関心・意欲・態度

＊進歩を続ける医学，医療の専門知識と技能に対する関心，生涯にわたりそれを学び続ける意欲，そのために必要な自己主導型学習態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる医療者として，また，医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

＊医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

◇大学入学までに修得が期待される内容

理科，数学，英語，国語を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命現象を科学的，論理的に理解し，医

学を修めるために必要となる，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることが期待されます。英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための基礎的学力を身につけていることが期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するために必要な基礎的学力を身につけていることが期待されます。

５．入学者選抜の基本方針

＊前期日程

大学入学共通テストにより，理科，数学，外国語，国語，地理歴史・公民，情報の６教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価します。

また，教科・科目に係る個別テスト等では，理科，数学，英語，面接を課します。理科では，物理，化学，生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを学力試験で評価します。これらは，生命現象を科学的，論理的に理解し，医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力です。数学では，論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価します。英語では，英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を修得していることを評価します。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力です。面接では，医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

医学部（看護学科）

１．教育理念

香川大学医学部看護学科は，①生命の尊重を基本として，人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった看護専門職者，②保健・医療・福祉の進展に柔軟に対応できる科学的判断力と専門技術を備えた看護専門職者，③幅広い視野をもち，地域保健医療や国際貢献の発展に寄与する看護専門職者を育成することを目指します。

２．教育目標

① 看護の対象である人間としての権利と自由を尊重し，思考力，判断力，行動力を高めることができる能力を養う。

② 看護の問題を総合的に判断し，解決できる基本的な知識及び看護実践能力を養う。

③ 生涯を通じて自己啓発し，看護を批判的に分析し，建設的・創造的に発展させることができる基礎的能力を養う。

④ 看護活動を通して教育，研究，管理を担い，及び国際貢献ができる能力を養う。

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目から構成される教育課程を編成・実施します。

人間理解に必要となる幅広い視野と知識の獲得のため，全学共通科目を学びます。学部開設科目では，看護学における専門知識と技能を修得し，総合的な実践力，専門職として生涯にわたり研鑽に努める姿勢，地域医療に貢献する姿勢を培います。

そのために年次ごとの進級要件を定め，年度末に厳格な進級判定を行います。

さらに養護教諭課程を編成・実施し，所定の単位を修得することにより，養護教諭免許を申請できます。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊看護の対象を包括的に捉え，問題解決するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊人々の健康を支援するために看護に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力

＊看護専門職として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊尊い人命を預かる看護専門職者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

本学入学後の講義を理解するために必要な基礎学力の修得と，自ら学ぶ姿勢を持つことが望まれます。看護専門職には，他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力が必要となります。高等学校等における学習や課外活動を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．入学者選抜の基本方針

＊前期日程

知識の総合力を重視することから，大学入学共通テストにより，国語，数学，地理歴史・公民，理科，外国語，情報の成績を評価します。特に，看護学を学ぶために必要な論理的思考力，基礎的学力を評価します。さらに，面接では，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協働性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

医学部（臨床心理学科）

１．教育理念

香川大学医学部臨床心理学科は，①人間に対する高い倫理観と深い思考力をもった人間性豊かな心理援助者，②自ら課題を探求し，それを解決できる基本的な専門知識と技能，科学的思考力と共感的理解力を備えた心理援助者，③多職種連携・協

力ができる資質を持ち，心理援助の実践を通して地域住民の福祉の充実発展に寄与するとともに，心理援助の発展に貢献する心理援助者を育成することを目指します。

２．教育目標

教育理念に掲げる心理援助者の育成のために，次の能力及び態度を養成します。

① 人間性を尊重した対人支援の態度，共感的コミュニケーション能力及び多職種と連携・協働しようとする態度

② 心理臨床の現場において心理援助者が必要とする心理学・臨床心理学の基礎的知識・技能，それに加えて身体と精神が相互に関連していることの理解及び心理援助者にとって重要な疾患・障害についての知識

③ 心理臨床の学習・実践において，自ら問題点を見出し解決しようとする問題解決・課題探求能力

④ 心理援助者としての倫理観，使命感，責任感，省察的態度及び生涯にわたり研鑽に努める姿勢

⑤ 地域社会における医療・保健，教育，福祉等の現状と課題への関心及びその中での心理援助者の役割についての理解

⑥ 21世紀型市民として身に付けるべき幅広い教養を踏まえた，社会の一員として法令・社会的規範を遵守して行動できる社会性

３．教育内容

教育目標を達成するために，全学共通科目と学部開設科目（専門基礎科目，専門科目）から構成される教育課程を編成・実施します。進級に関する要件はありませんが，「臨床心理学基礎研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅰ（心理支援実習)」「臨床心理学研究Ⅰ・Ⅱ」「心理実習Ⅱ（チーム医療実習)」及び「卒業研究」を受講するには，医学部が定める要件を満たすことが必要です。

講義科目では，心理学・臨床心理学を体系的に学ぶとともに医学の基礎を並行して学習することで，身体と精神が相互に関連していることを理解し，心理援助者にとって重要な疾患や障害についての知識を修得します。「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学統計法」「心理学研究法」などの実験・演習科目では，心の問題に対する実証的な研究法を学びます。さらに，少人数の体験学習による演習科目や学内・学外機関・施設における実習科目によって，人間性を尊重した対人支援の態度や共感的コミュニケーション能力，クライエントや患者を中心として多職種間で連携・協働できる能力を身につけます。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能の総合力と学ぶ力

②思考力・判断力・表現力

＊人間の心理を深く理解し支援するための論理的思考力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊多面的な視点から思考し，自分の考えを他者にわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力
＊他者の気持ちを敏感に感じ取る感受性や共感的コミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊心理的援助に高い志と強い関心を持ち，継続して意欲的に課題に取り組むことができる能力
＊人間尊重の態度や深く温かい眼差しを持ち，他者との関わりを通して，自己理解を深め，自らの潜在的な資質を成長させようとする意欲
＊大学卒業後もさらに高度な心理的援助の実践力を身につけ，心理援助者として，地域に貢献し，社会に役立ちたいという意欲

⑤倫理観・社会的責任

＊人間の健康，適応，成長に関わる心理援助者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

国語，英語，数学を中心とした高等学校の基礎学力を十分に身につけていることが期待されます。理科系科目では，生命や自然現象を科学的，論理的に理解するための幅広い知識の修得が，社会系科目では，人の生活の背景となる文化，歴史，社会に関して多様な視点から把握できる姿勢が期待されます。国語では，事実や情報をもとに自らの意見を論理的に構築し，表現したり，他者とのコミュニケーションを確立するための，英語では，英文教科書や学術論文の読解や論述，国際的な活動を行う上でのコミュニケーションのための，数学では，数的処理に基づいた論理的思考力や統計のための基礎的学力を身につけていることが期待されます。

５．入学者選抜の基本方針

＊前期日程

臨床心理学を学ぶために必要な広範囲の基礎学力を大学入学共通テスト（国語，数学，地理歴史・公民，理科，外国語，情報）の成績により評価します。

また，教科・科目に係る個別テスト等では，国語又は数学，英語，面接を課します。国語又は数学について，国語は考えを論理的に展開したり，文章にまとめたり，適切に表現できる能力を，数学は推理能力や論理的な能力を評価するため，文系と理系の学生を幅広く評価するため選択教科として実施します。英語は大学において，国際的なコミュニケーション能力を評価するために実施します。面接では，思考力・判断力・表現力，主体性・多様性・協調性，関心・意欲・態度，倫理観・社会的責任を評価します。

創 造 工 学 部

１．教育理念

日本のものづくり産業は「大量生産」「大量消費」の時代から，「ものづくり」さらには「ことづくり」におけるイノベーション創出の時代に変遷しており，人々の多様なニーズに柔軟に対応できる個性豊かで付加価値の高い「もの」や「こと」を創り出す「デザイン思考能力」を有する人材が必要とされています。さらに，「もの」や「こと」が創造的で新しいものであるほどそれを実現するためには相対

的に高いリスクが存在し，また，「もの」や「こと」には平時にのみならず危機に瀕しても価値を発揮することが求められていることから，「リスクマネジメント能力」を有する人材も必要とされています。創造工学部は，これらの能力を備えた「次世代型工学系人材」を輩出するため，以下に示す教育理念を定めています。

創造工学部では，人間とその生活を取り巻く自然に焦点を当て，人間と自然が調和的に共生できる文化・安全・産業の創造を目指し，専門的基礎能力に裏打ちされた幅広い工学のバックグラウンドに加えて，デザイン思考能力並びにリスクマネジメント能力を磨くことで，国際社会で尊敬される良き市民としての個性豊かな技術者を育成します。

２．教育目標

創造工学部では，以下の素養を育成することを目標としています。

1) 専門分野を問わず工学系人材として必要な数理的基礎力
2) 高い倫理観とそれに裏打ちされた対人コミュニケーション力及び異文化コミュニケーション力
3) 地域を理解し，地域と協働して価値の創造を行う力
4) 審美力，多様性理解力，企画力，プロトタイピング力などを統合したデザイン思考能力
5) 様々なリスクを把握･抽出し事前に対応策を講ずるとともに，想定外の事態にも対応できるリスクマネジメント能力

３．教育内容

創造工学部生が学ぶ科目は，「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。

「全学共通科目」は，全学生を対象に開設する科目で，人間的教養を高めるための教養教育科目です。１年次生を対象に大学の勉学に必要なスキルなどを少人数で学ぶ大学入門ゼミとＩＴ社会において必要な能力を身につける情報リテラシー，現代社会の課題・問題を学ぶ主題科目などからなります。

「学部開設科目」は，工学の専門家としての素養を身につけるための科目で，エンジニアとしての倫理観，コミュニケーション能力，デザイン思考能力，リスクマネジメント能力などを身につけるための学部共通科目と，それぞれの分野の専門を深めるためのコース専門科目に大別されます。

創造工学部は，「文化の創造」「安全の創造」「産業の創造」を担う人材が備えるべき専門性を育成するため７つのコースを開設します。各コースは以下に掲げる人材を育成するため，それぞれの特性を持った「コース専門科目」を提供します。

【造形・メディアデザインコース】

香川県は，美術・建築・工芸等の分野で，瀬戸内の自然や風土に育まれた優れた伝統・文化を持ちます。その価値を，今日的視点で多角的に研究・継承し，芸術的視点で統合しながら，工業製品・情報メディア等の造形・デザイン・制作に貢献できる創造的な人材を育成します。実践的なカリキュラムによって，優れたコミュニケーション能力，表現力を育成し，工業製品のデザイン，情報メディア・コンテンツのデザインに貢献できる人材を育成します。

【建築・都市環境コース】

少子高齢化や地方経済の衰退が進行するなかで，地域の限られた人的及び物的資

源を活用し，安全・安心で快適に暮らすことができる地域社会の構築を目指し，建築，土木，環境等の関連分野を俯瞰し，これらを活かした質的価値の高い“くらし”をデザインできる技術者を養成します。関連分野の基礎知識の習得に加えて，地域固有の自然環境や歴史文化，社会基盤，種々の建築物など社会を構成している諸要素に関する多様な技術を学び，測量士補の資格や建築士などの受験資格を得ることができます。

【防災・危機管理コース】

日本は首都直下地震や南海トラフ巨大地震のような国難といえる巨大自然災害だけでなく，国を超え地球規模の様々な危機にも直面しています。また，現在のようなグローバル化した世界では，ある地域の災害や事変が世界を震撼させる可能性もはらんでいます。本コースでは，地域の強みと弱みをよく知り，経験だけでなく人類や地球の歴史からも学び，何が脅威になるかという予見能力を持ち，ハードウェア，ソフトウェアとヒューマンウェアを組み合わせて，危機を未然に防止し，防止できないときには危機が災害に，災害が破局に拡大しないように対処できる人材を育成します。

【情報コース】

ＩＴ・デジタル技術や人工知能の進化により，個人の生活から産業のあり方まで，社会全体が大きく変わろうとしています。この変化を加速させるためにコンピュータ，セキュリティ，データ分析等の基礎知識に加え，これらを実社会に応用できる実践的なスキルをもった次世代型のＩＴ人材が求められています。当コースでは，これらの要求に応えるため，グローバルなネットワークを利用するクラウドやビッグデータなどを対象とする情報システム技術，高い信頼性や安全性を確保するセキュリティ技術，利用者の立場で情報システムを設計できるヒューマンインタフェース技術を身につけ，地域，日本，世界からの情報システム・セキュリティのニーズに対応した情報技術者を育成します。

【人工知能・通信ネットワークコース】

これまでの人工知能（ＡＩ）は，主に文章や画像などのデータを処理する技術，つまり画面の中の技術として発展してきました。これからは，センサーなどで現実世界のデータを集め，その状況を理解し，社会で活用するＡＩが重要になります。例えば，医療機器や自動車，ロボットなどをＡＩで制御する技術です。本コースでは，ＡＩやデータサイエンスを基礎から学ぶとともに，通信，電子回路，計測技術，数学などを総合的に学び，ＡＩを「作り，使い，社会に活かす」力を養います。卒業生は情報通信，電気，自動車，医療機器，金融，公務員など多様な分野で活躍しています。

【機械システムコース】

社会に貢献できる「付加価値」のある製品やサービスの提供を目指し，「先端的なものづくり」をリードする高度な機械系技術者を養成します。 機械工学の基礎として解析力，力学，制御技術，設計・製図を身に付け，その上で，高度な機械システムを形成するために必要な電気電子，情報分野の知識についても学びます。そのため，自動車，電機，情報，鉄鋼，医療機器など機械システムが関わる様々な分野で技術者として活躍できます。

【材料物質科学コース】

物質に対する化学や物理の理解を深めることは，材料科学の基礎であり，安心・安全で持続可能な社会の実現と省エネルギー・省資源化に貢献する先端材料の開発に不可欠です。新材料の創造は常に世界の先端技術をけん引しています。本コースでは，社会に貢献する新しい材料をつくり出すという視点から，材料・機械・電気・化学・物理・生物などに細分化されている学問を「環境材料化学分野」，「機械材料科学分野」，「光・電子材料科学分野」の３つに統合し，自然界の原理・原則・現象の理解を基礎とした幅広い実践的な教育研究を行います。本コースの卒業生は，製造業，化学，金属，素材メーカー，電気・電子部品など様々な分野で活躍しています。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めています。

①知識・技能

＊高等学校等における国語，外国語，数学，理科などを中心に，幅広い学習に裏付けされた本学部の専門領域を学ぶために必要な基礎学力・技能

②思考力・判断力・表現力

＊本学部の専門領域の分野を多角的かつ包括的に捉え，それぞれの問題を解決するための論理的思考能力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力

＊物事を多面的な視点から思考し，自分の考えを他者からもわかりやすく伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊主体的に多様な他者とかかわり，他者の意見や価値観を尊重し相互理解に努めようとする協働性やコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊本学部の専門領域のいずれかの分野に興味関心を持って自ら積極的かつ継続的に課題に取り組む意欲と審美眼を持ち，身につけた知識・技術を分かりやすく表現し，共生環境創造，地域社会創造及び国際社会に役立てる意欲・態度

＊技術者として国内外を問わず社会に発信し，生涯にわたり学び続ける態度

⑤倫理観・社会的責任

＊本学部の専門領域における技術者として，また社会の構成員としての自覚と責任を持ち，自己が果たす役割や倫理観・社会的責任を理解できる能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校等において，国語，外国語，数学，理科などを中心に基礎学力を身につけておいてください。本学部の理念を理解し，技術専門職として，他者の意見や価値観を尊重し，他者を思いやることができるコミュニケーション能力も必要ですので，生徒会活動やクラブ活動・ボランティア活動等を通して，幅広い視野と主体性・協働性を養い，自分の考えを表現できるような力を身につけておいてください。

５．入学者選抜の基本方針

＊前期日程

多様な能力・志向を持つ学生を確保するため，試験科目の組み合わせとして，高

等学校等で理系科目を中心として履修した人を対象とするもの（Ａタイプ），必ずしもそれに当てはまらない場合でも本学部の教育に興味がある人を対象とするもの（Ｂタイプ）の２種類を用意しています。造形・メディアデザインコース，防災・危機管理コース及び情報コースを希望する人は，Ｂタイプも選択できます。前期日程では，従来の文系理系の枠にとらわれない広い視点に基づく創造工学を目指す人を求めるために，本学部で学ぶための知識・技能を評価します。大学入学共通テストでは６教科８科目（Ｂタイプ志願者は，６教科７科目）を課しています。教科・科目に係る個別テストでは，基礎的な理数系科目（数学，物理，化学）から１科目または２科目を課し，本学部で学んでいく上で必要な基礎学力を問います。Ｂタイプの造形・メディアデザインコース志願者には総合問題を課し，多面的な視点から思考し，論理的思考能力や判断力，根拠に基づいた科学的思考力や批判的思考力を問います。防災・危機管理コース及び情報コースの志願者は，地学も選択できます。

＊後期日程

後期日程では，科学技術に関するさまざまな問題に対する判断力や対応能力や将来に国際社会で活躍するために必要な基礎的能力などを総合的に問います。そのため，大学入学共通テストでは，６教科８科目を課しています。また，教科・科目に係る個別テスト等では「21世紀にあるべき工学」を学ぶために必要な知識・技能などを問うことを目的とした小論文を課しています。

農　学　部

１．教育理念

香川大学農学部は，先端的かつ総合的な生物科学を基礎に，自然と調和した安全で快適な地域社会を実現するための教育と研究を行うことにより，豊かな人間性と国際的な視野，課題探求能力を備え，生物資源の生産と活用に関する科学と技術を総合的に理解し，生物科学を基盤とする産業界で幅広く活躍できる有為な人材を養成することを目指します。

２．教育目標

香川大学農学部では，生物資源の生産と活用に関する幅広い知識と技能を身につけ，科学的な思考に基づく課題設定力，国際感覚を備えた判断力及びコミュニケーション力を備え，多様で広範な社会の諸課題の解決に向けて柔軟な思考によって取り組むことのできる「農学の実践力」を持って国際的協働社会の一員として自覚的に行動できる人材を育成します。

３．教育内容

農学部生の履修する授業科目は「全学共通科目」と「学部開設科目」に大別されます。「全学共通科目」は幅広い教養を身につけるために全学学生を対象に開設された授業科目であり，「学びと生き方科目」（「学問への扉」，「大学入門ゼミ」，「情報リテラシー」，「ライフデザイン」，「健康・スポーツ」から構成），「主題科目」，「学問基礎科目」，「外国語科目」，「広範教養教育科目」，「高度教養教育科目」という科目群から構成されています。「学部開設科目」には専門の基礎固めのための「導入科目」と「共通基礎科目」，高度な専門性を身につけるための「コース専門科目」，さらに社会的課題などに視野を広げるための「共通展開科目」が設けられています。

農学部は応用生物科学科の１学科制を採用しています。入学後，まず学部共通の導入科目と共通基礎科目を履修し，生物科学の基礎を身につけます。この間に，自らの学習の方向性と適性を把握し，２年後期からは以下の４つのコースに分かれて専門科目を履修し，学修を体系的に完成させます。

【アグリサイエンスコース】

気候変動や人手不足に適応して自然と共生する，持続的な農業が求められています。本コースでは，農作物と園芸作物の生産および資源開発を目的として，分子レベルの生命活動，フィールドでの生産管理技術，遺伝資源の評価と品種改良，生産物の流通や利用について学びます。座学，実験，フィールドでの実習を通してアグリサイエンスの理論と応用を体系的に学び，さらに課題研究を通して実践的な問題解決能力や論理的思考力を習熟させます。

【生命機能科学コース】

近年，生命科学やバイオテクノロジーは大きく進歩し，遺伝子やタンパク質といった分子の働きから生命現象を理解できるようになってきました。生命機能科学コースでは，微生物から植物・動物まで幅広い生物を対象に，生命科学の基礎から応用までを総合的に学びます。講義だけでなく実験・実習を組み合わせることで，遺伝子操作，培養細胞の扱い，タンパク質解析などの基本技術を身につけることができます。さらに，約２年間の課題研究では，自分で決めたテーマにじっくり取り組み，観察力や考察力，問題解決力を高めます。遺伝子組換えやゲノム編集などの最先端技術や高度な解析機器に触れながら，科学的に課題を探求する力を養うことができます。

【フィールド環境コース】

現在の地球では，資源の乱用や水・大気・土壌の汚染，生物多様性の著しい減少など，様々な問題が生じています。これらの対策を考えるためには，深い専門知識と同時に，生態系を地球規模から身近な自然まで，総合的に理解できる能力が必要です。本コースでは，個々の生物の特性や環境との相互作用，および環境中の物質循環について，時間的・空間的に多様なスケールにわたって学びます。特に沿岸海域，河川，森林，農場を主なフィールドおよび実験室で，化学的・生物学的手法をはじめとする様々な手法と理論を活用し調査・解析に取り組みます。そして，環境問題や生物の利用・管理，生態系の保全に対して実践的に取り組む力を身につけます。

【食品創薬化学コース】

食品創薬化学コースでは，食品や天然素材に含まれる成分とそれらの機能を科学的に解　析・理解することで，機能性食品の開発や創薬に応用する力を育みます。本コースでは，食と健康に関わる物質の「機能性」,「安全性」,「嗜好性」,「加工特性」などを体系的に学び，機能性食品や医農薬品シーズを探索・開発する力を身につけます。さらに，有機化学や分析化学，生化学などの手法を用いた実験や食品加工実習を通して，大学院での研究や企業で必要な課題解決力や創造力を養います。学際的な学びを通じて，化学の力で食と健康の未来に貢献できる人材を育てます。

４．求める学生像（入学者に求める学力・能力・資質等）

大学入学までに，以下のような学力・能力・資質等を備えている学生を求めてい

ます。

①知識・技能

＊農学部専門科目を学ぶために必要な基礎的な知識と技能

②思考力・判断力・表現力

＊課題解決に必要な柔軟で論理的な思考力・判断力と自分の考えを的確に伝える表現力

③主体性・多様性・協働性

＊地域社会や国際社会における生物資源の生産・利用に関する広範な諸課題を積極的かつ主体的に探求し，多様な観点で考え，他者と協働して課題を解決するコミュニケーション能力

④関心・意欲・態度

＊生物と生物資源の生産及びその有効利用並びにそれらの基盤となる生命現象に強い関心を持ち，関連する様々な課題に積極的・主体的に取り組もうとする高い意欲

＊生物関連産業での活躍を希望し，応用生物科学の様々な分野の専門知識や技術を意欲的に修得しようとする態度

⑤倫理観・社会的責任

＊生物資源の生産と利用に関わる者として，自然と調和した安全で快適な人間社会を構築するための高い倫理観と社会的責任を理解する能力

◇大学入学までに修得が期待される内容

高等学校において，理科，数学，国語，英語を中心とした基礎学力を身につけておいてください。農学部では，生物科学の様々な分野の学問を理解し，生物資源の生産と利用に関する専門科目を学ぶために理科と数学の基礎学力が必要となります。また，生物資源の生産と利用に関する情報を理解し，自らの論理的思考及び判断をもってこれを説明できるプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力を養うことを目標としています。これらを日本語だけでなく英語でも可能にするために国語と英語の基礎学力が必要です。

５．入学者選抜の基本方針

＊前期日程

高等学校における教科面での学習の達成度，知識・技能，思考力・判断力・表現力をみるために大学入学共通テストでは国語，数学，地歴・公民，理科，外国語，情報（６教科８科目）を課します。教科・科目に係る個別テストでは，農学部における勉学の素地として自然科学を重視し，修学に必要な知識・技能をみるために数学又は理科（１教科１科目）の得点を評価します。

＊後期日程

高等学校における教科面で，農学部で特に必要な教科の学習の達成度，知識・技能，思考力・表現力をみるために大学入学共通テストの数学，理科，外国語（３教科４科目）の得点を評価します。

Ⅱ　募集人員

学部	学科・課程・コース等		募集人員（人）		
			前期日程		後期日程
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	8		
		小学校教育コース	55		13
		中学校教育コース	A系	14	7
			B系	10	
			C系	4	
	計		91		20
法学部	(昼間コース) 法学科		75		35
	計		75		35
経済学部	(昼間コース) 経済学科		110		35
	計		110		35
医学部	医学科		76		
	看護学科		35		
	臨床心理学科		20		
	計		131		
創造工学部	創造工学部	造形・メディアデザインコース	180	Aタイプ 151	44
		建築・都市環境コース			
		防災・危機管理コース			
		情報コース			
		人工知能・通信ネットワークコース		Bタイプ 29	
		機械システムコース			
		材料物質科学コース			
	計		180		44
農学部	応用生物科学科		90		10
	計		90		10
合計			677		144

備考

【教育学部】

１．学校教育教員養成課程　中学校教育コース　前期日程では，Ａ系，Ｂ系，Ｃ系の３系ごとに試験を実施します。

系は教科・科目に係る個別テスト等における教科・科目等の区分を表すもので，Ａ系が国語又は外国語，Ｂ系が数学又は理科，Ｃ系が実技試験（音楽，美術，保健体育からいずれか１つ選択）です。

２．学校教育教員養成課程は，下記の組み合わせのとおり志望順位をつけて第２志望まで志願することができます。

	志　願　可　能　な　組　み　合　わ　せ
前　期　日　程	・幼児教育コースと小学校教育コース ・小学校教育コース（国語又は外国語受験者）と中学校教育コースＡ系 ・小学校教育コース（数学又は理科受験者）と中学校教育コースＢ系 ・小学校教育コース（実技試験受験者）と中学校教育コースＣ系
後　期　日　程	小学校教育コースと中学校教育コース

３．学校教育教員養成課程には，次のコース・領域があります。

課　　程	コ　ー　ス	領　　域
学校教育教員養成課程	幼児教育コース	
	小学校教育コース	教育領域，心理領域，生活・総合領域， 特別支援教育領域， 国語領域，社会領域，数学領域，理科領域，音楽領域，美術領域， 保健体育領域，技術領域，家庭領域，英語領域
	中学校教育コース	国語領域，社会領域，数学領域，理科領域，音楽領域，美術領域， 保健体育領域，技術領域，家庭領域，英語領域

４．領域への所属は２年次からです。

教科・科目に係る個別テスト等で選択した受験教科・科目及び系は，２年次からの領域の選択とは関係しません。

【医　学　部】

医学科の一般選抜（前期日程）の募集人員には，私費外国人留学生選抜，国際バカロレア選抜の募集人員（それぞれ若干人）を含みます。

医学科の一般選抜（前期日程）における募集人員76人には「地域枠（一般）」８人を含みます。

【創造工学部】

創造工学科前期日程では，ＡタイプとＢタイプの２タイプの試験があります。Ａタイプは全コース（７コース）へ志願することが可能で，志望順位をつけて第７志望まで記入できます。記入したコースの中から合否判定が行われます。Ｂタイプは造形・メディアデザインコース，防災・危機管理コース，情報コースのいずれかへ志願することができます。

創造工学科後期日程では，志望順位をつけて第７志望まで記入できます。記入したコースの中から合否判定が行われます。

創造工学部の募集人員の目安は以下のとおりです。

（人）

学科	コース	募集人員の目安	前期Aタイプ	前期Bタイプ	後期
創造工学科	造形・メディアデザイン	30	13	12	5
	建築・都市環境	40	32	0	8
	防災・危機管理	12	3	7	2
	情報	50	32	10	8
	人工知能・通信ネットワーク	26	20	0	6
	機械システム	36	27	0	9
	材料物質科学	30	24	0	6
合計		224	151	29	44

（注）各コースの募集人員の目安は入学定員ではありません。

【そ　の　他】

入学定員に欠員が生じた場合には，追加合格及び欠員補充第２次募集を行うことがあります。

Ⅲ　出願について

１．出願資格

入学を志願できる者は，次の各号のいずれかに該当し，かつ，令和９年度大学入学共通テストのうち，本学が指定する教科・科目（35～50ページ参照）を本学が指定した方法で受験した者とします。

なお，本学では大学入学共通テストの過去の成績は利用しませんので，本年度行われる大学入学共通テストを必ず受験してください。

（１）　高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者及び2027年３月卒業見込みの者

（２）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2027年３月修了見込みの者

（３）　学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年３月31日までにこれに該当する見込みの者

ア　外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ　文部科学大臣の指定した者（昭和23年５月31日文部省告示第47号）

オ　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格（合格見込みを含む。）した者で，2027年３月31日までに18歳に達するもの（※１）

カ　大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）により文部科学大臣の行う大学入学資格検定（平成17年４月廃止）に合格した者

キ　学校教育法第90条第２項の規定により他の大学に入学した者であって，本学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

ク　本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，2027年３月31日までに18歳に達するもの（※２）

※１　高等学校卒業程度認定試験において合格点を得ていても，2027年３月31日までに18歳に達しない者は，出願資格がありません。

※２　出願資格の「ク」により出願する者は「事前審査」を行いますので，61ページ「12. 出願資格審査について」に従って手続を行ってください。

（注）　医学部医学科の地域枠（一般）に出願できる者は，上記の出願資格に該当し，かつ，「地域枠（一般）」で出願し合格した場合は，次の要件すべてを満たして入学を確約できる者に限ります。

なお，地域枠（一般）に出願する者は，一般枠（通常の一般選抜）を併せて出願することができます。

① 香川県内の高等学校を卒業した者又は2027年３月までに卒業見込みの者

② 2025年度又は2026年度に本学で実施する地域医療セミナーを修了した者

③ 「香川県医学生修学資金」の貸付けを受ける者

④ 将来，香川県が別途定める医療機関（香川県内の公立病院等）で一定期間（９年間）医師の業務に従事する意志のある者

※地域医療セミナーの詳細は，医学部ホームページ（https://www.med.kagawa-u.ac.jp/prospective_students/igaku/chiikiiryouseminar/）を参照してください。

※「香川県医学生修学資金」の詳細は，香川県ホームページ（https://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県医学生修学資金貸付」で検索してください。

２．出願手続

〔１〕出願期間および出願方法（インターネット出願）

出願方法はインターネット出願のみです。

出願は，下記期間内に①出願登録，②検定料払込，③出願書類等の郵送によって完了します。
（①②③のすべてを行わなければ出願が受け付けられません。）

出願登録期間	１月25日（月）10時 ～２月３日（水）17時 ※１月22日（金）10時よりインターネット出願サイトへの入力（出願内容の下書保存）が可能です。
検定料払込期間	１月25日（月）10時 ～２月３日（水）17時
出願書類等到着期限	２月３日（水）17時必着 ※到着期限を過ぎて書類が届いた場合は，２月１日（月）までの消印があり，かつ簡易書留・速達であるものに限り受け付けます。 ※２月３日（水）9時～17時に限り，出願書類等の持参を認めます。 受付場所　〒760-8521　高松市幸町１番１号　香川大学入試課

■インターネット出願の流れ



■出願前の確認・準備

①　必要なインターネットの環境

パソコン	Windows：Microsoft Edge（最新バージョン） Google Chrome（最新バージョン） Firefox（最新バージョン）
	MacOS　：Safari（最新バージョン）
スマートフォン タブレット	Android（14.0以上）：　Android Chrome（最新バージョン） iOS（17.0以上）　　：　Safari（最新バージョン）

※　ブラウザの設定は，どのウェブブラウザでも，以下の設定を行ってください。
・JavaScriptを有効にする。
・Cookieを有効にする。
※　セキュリティソフトをインストールしている場合，インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。
セキュリティソフトについては，各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。
※　PDFを表示するにはアドビ社のAdobe Acrobat Reader（無償）が必要です。他アプリケーションではPDFが正しく表示されない恐れがあります。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し，最新版にアップデートされることを推奨します。

②　印刷できる環境の確認

入学願書等PDFファイルを印刷する必要があるため，印刷できる環境が必要です。自宅にプリンターがない場合は学校やコンビニエンスストア等の印刷できる環境を確認してください。

③　メールアドレスの準備

出願登録の際にメールアドレスが必要です。登録したメールアドレスはIDとして利用するだけでなく，出願に関する重要なお知らせが配信されますので，日常的に受信を確認できるメールアドレスを登録してください（スマートフォン・携帯電話等のアドレスも可。同一メールアドレスで複数IDの登録はできません。）。

メールアドレスを持っていない場合は，フリーメール（Gmail,Yahoo!メール等）を取得してください。携帯電話でドメイン指定受信設定をしている場合は「@postanet.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

STEP 1　出願登録を行う

1 香川大学入試情報から「インターネット出願」にアクセス

香川大学入試情報＞インターネット出願
（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/16987/）





※画面は変更となる場合があります。

2 ユーザー登録（初めて利用する場合）

- インターネット出願サイトPost@netのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- 利用規約に同意した後，必要事項を入力して「登録」ボタンをクリック。
- 入力したメールアドレス宛てに，仮登録メールが届きます。
- 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。

3 出願情報の入力

登録したメールアドレスとパスワードでPost@netにログインしてください。「学校一覧」より本学の「出願」ボタンをクリックし，出願内容（入試区分，学部学科等），志願者情報等の必要事項（※28～29ページ参照）を画面の指示に従って入力してください。

本学では，大学入学共通テストの成績請求情報の取得を「Web方式」により行いますので，必要事項（※28ページ参照）を入力してください。

志願者情報の入力・確認画面では，必ず入力した内容に誤りがないか，十分に確認してください。

「STEP2 検定料を払い込む」が完了すると，入力した出願登録情報が修正できなくなりますので注意してください。

※出願登録情報の修正の詳細についてはインターネット出願に関するQ&Aをご確認ください。

STEP 2　検定料を払い込む

検定料　１７，０００円
※検定料の他に，払込手数料（支払い方法にかかわらず一律680円）が必要です。
※ペイジー（銀行ATM）においては，ご利用の銀行によって，別途事務手数料が発生する可能性があります。

■支払方法の選択

支払方法を選択し，支払手続に進んでください。

【注意】

『コンビニ』『ペイジー』を選択した場合は，必ず支払いに必要な番号を印刷又はメモしてください。

※支払い番号を忘れた場合は，Post@netにログインすると，支払い番号を確認することができます。

■支払手続
※今後変更になる場合がありますので，最新情報はPost@netで確認してください。

■クレジットカード
カード情報を入力すれば，決済が完了します（支払方法は一括払いのみ）。
クレジットカードの名義人は志願者と同一である必要はありません。

■コンビニ

セブンイレブン	レジで「インターネット支払い」と伝えて，印刷した「払込票」を渡すまたは番号を伝えて代金お支払い
ローソン/ ミニストップ	「Loppi」で手続後，レジで代金お支払い
ファミリーマート	「マルチコピー機」で手続後，レジで代金お支払い
セイコーマート	レジで「インターネット支払い」と伝えて手続後，代金お支払い
デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストアー	レジで「オンライン決済番号」を伝えて，代金お支払い

■ペイジー（銀行ATM）
ペイジー対応の銀行ATMで「料金払込（ペイジー）」を選択し検定料を払い込んでください。
※銀行ATMによってメニュー名称が異なります。上記はゆうちょ銀行の例。

■ペイジー（ネットバンキング）
収納機関番号・お客様番号・確認番号を控え，各自で支払い方法を確認し検定料を払い込んでください。

! 支払手続が完了しないと，「STEP３ 出願書類等を印刷・郵送する」に進めません。

STEP 3 出願書類等を印刷・郵送する

1 出願書類と封筒貼付用宛名シートを印刷

- 決済完了後，Post@netに再ログインし，「出願内容一覧」より本学の「出願内容を確認」ボタンをクリックしてください。
- 画面下部にある「入学願書ダウンロード」ボタン及び「封筒貼付用宛名シートダウンロード」ボタンをクリックし，出願書類等のPDFファイルをダウンロードし，A4用紙に片面印刷してください。
- 印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は，該当箇所に赤字で修正を加えてください。（訂正印は不要）



2 郵送用の封筒を準備

- 角形２号封筒（240mm×332mm）を準備してください。
- 印刷した封筒貼付用宛名シートを，角形２号封筒に貼り付けてください。
- 前期日程・後期日程の両方に出願する場合は，封筒をそれぞれ用意してください。



3 出願書類等を郵送

- 郵送が必要な出願書類等（※29～30ページ参照）が全て封入されていることを確認し，「簡易書留・速達」で郵送してください。

! STEP１～STEP３を，すべて期間内に完了することによって，出願が受理されます。インターネットで入力が完了していても，出願書類等が期限までに到着しない場合は，出願を受理することができません。出願期間を十分に確認の上，できるだけ余裕をもって出願してください。

STEP 4　受験票または願書受理票を印刷する

下記期間中にPost@netにログインし，「出願内容一覧」より本学の「出願内容を確認」ボタンをクリックしてください。画面下部にある「デジタル受験票ダウンロード」ボタンをクリックして受験票（農学部後期日程は願書受理票）をダウンロードし，A4用紙に印刷してください。

受験票（願書受理票） ダウンロード期間	【前期日程】 ２月９日（火）10時 ～ ２月26日（金）20時 【後期日程（教育学部・法学部・経済学部・創造工学部）】 ２月９日（火）10時 ～ ３月12日（金）20時 【後期日程（農学部）】 ２月９日（火）10時 ～ ３月22日（月）20時

※「受験票」，「願書受理票」は入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので，大切に保管しておいてください。

STEP 5　教科・科目に係る個別テスト等を受験

教科・科目に係る個別テスト等当日は，印刷した受験票と大学入学共通テスト受験票を必ず持参してください。

※農学部後期日程は教科・科目に係る個別テスト等を実施しません。

インターネット出願に関するQ&A

Q 氏名や住所の漢字が，登録の際にエラーになってしまいます。

A 氏名や住所などの個人情報を入力する際に，JIS第１水準・第２水準以外の漢字は登録エラーになる場合があります。その場合は，代替の文字を入力してください。それでも入力が難しい場合は，カタカナで入力してください。

〈例〉 髙木→高木　山﨑→山崎　（ローマ数字）Ⅲ→３

Q ポップアップがブロックされ画面が表示できません。

A GoogleツールバーやYahoo!ツールバーなどポップアップブロック機能を搭載しているツールバーをインストールしている場合，ポップアップ画面が表示されない場合があります。Post@net（「home.postanet.jp」及び「www.postanet.jp」）のポップアップを常に許可するよう設定してください。

Q コンビニ・ペイジーでの支払いに必要な番号を忘れました。

A Post@netにログインし，「出願内容一覧」より本学の「出願内容を確認」ボタンをクリックすると，支払番号の確認画面を再表示できます。

Q ダウンロードした出願書類のPDFファイルを表示できません。

A PDFを表示するには，Adobe Acrobat Reader（無償）が必要です。すでにAdobe Acrobat Readerをお持ちの方もバージョンを確認し，最新版にアップデートされることを推奨します。

Q 出願書類を印刷するためのプリンターが自宅にありません。

A 学校やコンビニエンスストア等の印刷できる環境をご検討ください。

Q 出願登録後に出願内容を変更することはできますか？

A 【志願者情報（住所・氏名・電話番号・志願者履歴等）を変更したい場合】
出願登録後は出願情報の変更ができません。検定料を支払う前であれば，既に登録した出願情報を放棄し，もう一度，最初から出願登録を行ってください。検定料を支払った後に誤りがあることが分かった場合は，印刷した入学願書に赤字で修正を加えてください（訂正印は不要）。

【地域枠（一般）志望理由書を変更したい場合】
検定料を支払う前であれば，変更可能です。Post@netにログインし，「出願内容一覧」より本学の「出願内容を確認」ボタンをクリックしてください。画面上部にある「活動記録を編集」ボタンをクリックし，登録内容を変更してください。

Q 出願書類等を郵送しましたが，届いたか不安です。

A 簡易書留受領証に記載されている引受番号を使って日本郵便ホームページの郵便追跡サービスから追跡（検索）してください。

インターネット出願の操作方法に関する照会先	四国国立５大学インターネット出願専用コールセンター （０７５）３４１－８６２０ 受付期間：１月22日（金）　9:00～17:00 １月25日（月）～２月２日（火）9:00～20:00(土日を含む) 出願最終日　２月３日（水）9:00～17:00

〔２〕Post@netで入力する項目

下表の①～④と，該当者のみ⑤，⑥を入力してください。

（全員が入力するもの）

番号	入力項目	注意事項
①	入試区分・学部の選択	志望する入試方式と学部を選択してください。
②	志願者の基本情報	必要事項を入力してください。 ※住所は本学から送付する書類が必ず届く住所を入力してください。 ※電話番号は志願者・緊急連絡先あわせて必ず異なる電話番号を２つ以上入力してください。出願書類の不備等について本学から連絡することがあります。
③	志願者の写真	志願者本人の顔写真のデータをアップロードしてください。 **【顔写真の規格】** ・カラー ・出願前６ヶ月以内に撮影したもの ・正面向き，胸から上を撮影したもの ・無帽，無背景であること ・鮮明で，影のないもの ・写真を加工，修正していないこと ・写真サイズ比率 縦４：横３　（出願サイト上でトリミング可能） ・ファイル形式：JPEG（ファイルサイズ上限3.0MB） ※顔の大きさが写真全体の2/3になるように画像サイズを調整してください。 ※証明写真をカメラで再撮影したものは認めません。
④	大学入学共通テスト成績請求情報	大学入学共通テスト出願サイトの「ユーザーID（メールアドレス）・パスワード」及び「申込番号」を入力してください。

（上記のほかに該当者が入力するもの）

医学部（医学科・看護学科・臨床心理学科）志願者		
⑤	志願者履歴	高等学校に在学中の者は高校の学歴のみを入力してください。 高等学校を卒業している者は卒業から現在までの経歴について詳細に入力してください。自宅学習及び予備校学習も入力し，空白期間を作らないでください。 大学に在学中の者又は在学したことがある者は，大学・学部・学科名及びその在学期間を入力してください。 職歴がある者は，会社名及びその在職期間を入力してください。 高等学校卒業程度認定試験合格者及び大学入学資格検定合格者は，最終学歴から現在に至るまでの経歴を詳細に入力してください。

医学部医学科　地域枠（一般）志願者		
⑥	地域枠（一般）志望理由書	以下のことについて，800字以内で入力してください。 あなたは，なぜ地域枠（一般）を志願しようと思いましたか。地域医療に関してどのような興味を持っていますか。また，将来どのような地域医療に関わりたいと思っていますか。

〔３〕郵送が必要な出願書類等

Post@netで入力及び検定料の支払いを行った後，下表の①，②と，該当者のみ③～⑥を郵送してください。

（全員が提出するもの）

	出願書類等	注意事項
①	入学願書	25ページの手順に従って該当ファイルをダウンロードし，A4用紙に印刷してください。 ※「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックすることでダウンロードできます。 ※印刷した書類に誤りがあることがわかった場合は，該当箇所に赤字で修正を加えてください。(訂正印は不要)
②	調査書等	１．高等学校を卒業した者及び2027年３月までに卒業見込みの者は，出身学校長が作成し，厳封したものを提出してください。
		２．高等専門学校第３学年修了者及び修了見込みの者並びに文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び修了見込みの者については，出身学校において文部科学省所定の調査書に準じて作成された書類をもって調査書に代えることができます。
		３．外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの，国際バカロレア資格取得者，アビトゥア資格取得者，バカロレア資格（フランス共和国）取得者，GCEAレベル資格取得者，国際Aレベル資格取得者，欧州バカロレア資格取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者及び修了見込みの者については，当該試験等の成績証明書等をもって調査書に代えることができます。
		４．高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定に合格した者は，下記の当該試験の書類のいずれか１つを提出してください。 ・合格証明書 ・合格成績証明書 ・合格証書 高等学校卒業程度認定試験に合格見込みの者は，下記の書類のいずれか１つを提出してください。 ・高等学校卒業程度認定試験合格見込成績証明書 ・当該試験の科目合格証明書及び試験科目に相当する科目の単位修得見込証明書 なお，過去に高等学校に在学したことがある者は，在学期間中の調査書を併せて提出してください。

②	調　査　書　等	出身学校の事情（廃校，被災，文書保管期間の超過等の理由）により調査書が得られない場合は，卒業証明書と下記の書類のいずれか１つを併せて提出してください。 ・成績証明書 ・単位修得証明書 ・成績通信簿　等 各証明書の発行対象に該当しない場合は，本証明書に代わり，証明書を発行することができない旨を証明する書類を提出してください。 なお，旧姓（名）で作成された証明書等を使用する場合は戸籍抄本を，通名で作成された証明書等を使用する場合は，通名登録のうえ，住民票の写しを併せて提出してください。 （注）前期日程・後期日程ともに香川大学に出願する場合でも，調査書等は１通ずつ用意してください。

（前記のほかに該当者が提出するもの）

教育学部 実技試験（音楽）志願者のうちa～cを希望する者		
③	楽　譜 （伴奏譜を含む）	実技試験で演奏する曲の楽譜１部（伴奏譜を含む。）を提出してください。

医学部（医学科・看護学科・臨床心理学科）志願者		
④	志　願　者　履　歴	①入学願書と同様に，Post@netの「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードし，A4用紙に印刷してください。

医学部医学科　地域枠（一般）志願者		
⑤	地域枠（一般） 志望理由書	①入学願書と同様に，Post@netの「入学願書ダウンロード」ボタンをクリックしてファイルをダウンロードし，A4用紙に印刷してください。
⑥	同　意　書	本学所定の用紙を用いて作成してください。様式は本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission_guide/guide22/）からダウンロードし，A4用紙（両面）に印刷してください。 同意書の内容をよく確認したうえで，所定の欄に志願者本人及び保護者又は法定代理人が必要事項を手書きで記入してください。

〔４〕出願上の注意事項

⑴ 併願について

志願者は，前期日程で試験を実施する大学・学部から１つ，後期日程で試験を実施する大学・学部から１つ，公立大学中期日程で試験を実施する大学・学部から１つ，合計３つの国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）に出願することができます。いわゆる「前期－前期」，「後期－後期」のそれぞれの組み合わせの併願はできません。

※詳しくは公立大学協会ホームページ(https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050)を参照してください。

⑵ 学校推薦型選抜による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の学校推薦型選抜に合格している者は，当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き，本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

⑶ 総合型選抜による合格者の取扱い

既に国公立大学・学部の総合型選抜に合格している者は，当該総合型選抜を実施する大学・学部の定める手続により入学の辞退を許可された場合を除き，本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

⑷ 前期日程試験による合格者の取扱い

本学又は他の国公立大学の前期日程に合格し，2027年３月15日（月）までに入学手続を完了した者は，後期日程を受験しても，その合格者とはなりません。

⑸ 学内併願について

本学の異なる日程の学部間又は同一学部への併願は妨げません。

本学医学部看護学科の国際バカロレア選抜に出願する者は，同一日程で実施する看護学科の一般選抜（前期日程）と併願することができます。

⑹ 出願書類等について

１．出願書類が不備の場合は受理できません。

２．出願書類受理後は，出願の取消し，書類の返還及び記載内容の変更を認めません。

３．払込済の検定料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 医学部医学科における第１段階選抜で不合格になった場合，本人の申出により13,000円を返還します（この場合の手続方法については，第１段階選抜結果を発表する際にホームページ上に掲載します。）。

④ 願書受理後，本学が課している大学入学共通テストの教科・科目を受験していないため，教科・科目に係る個別テスト等を受験できないことが判明した場合，該当者には検定料の返還方法について通知します。その後，本人の申出により13,000円を返還します。

上記①又は②に該当される方は，香川大学入試課 TEL（087)832-1182へご連絡ください。

３．選抜方法

入学者の選抜は，大学入学共通テストと本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等の成績及び調査書の内容等を総合して行います。

《合否判定基準等》

・　総合点により合否を判定します。
・　総合点が受験者の中で著しく低い者については，不合格とすることがあります。
・　教育学部学校教育教員養成課程では，20ページのとおり第２志望までコースの志願ができます。この場合，高得点者から，志望順位により合格となるコースを振り分けます。
・　経済学部前期日程，後期日程では，総合順位方式を採用します。すなわち，各受験者について，A型とB型のそれぞれの配点の順位を付けます。２つの順位のうち，高順位となる順位をその者の総合順位とします。総合順位が高い順に合格者を決定します。
・　医学部医学科前期日程では，総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。これに加え，地域枠（一般）では，香川県による面接の結果を参考として合否を決定します。
・　医学部看護学科及び臨床心理学科前期日程では，総合点の如何にかかわらず面接の結果をもって不合格となることがあります。
・　創造工学部前期日程Aタイプ及び創造工学部後期日程では，全コース（７コース）に志願することが可能で，志望順位をつけて第７志望まで記入できます。記入したコースの中から合否判定が行われます。この場合，高得点者から，志望順位により合格となるコースを振り分けます。創造工学部前期日程Bタイプでは，造形・メディアデザインコース，防災・危機管理コース，情報コースのいずれかに志願することができます。
・　その他，各学部での選抜方法等については，〔１〕大学入学共通テストの利用教科・科目等，〔２〕教科・科目に係る個別テスト等の実施教科・科目等の注意欄等を参照してください。

《大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の取扱いについて》

・　本学が課している大学入学共通テストの教科・科目を本学が指定した方法で受験していない場合は，教科・科目に係る個別テスト等を受験することができませんので，注意してください。
・　大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択する受験者は，必ず「リーディング」と「リスニング」の両方を受験してください。

　両方を受験していない場合は，教科・科目に係る個別テスト等を受験することができません。

　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。
・　本学が課している大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の教科・科目等全てを受験していない場合は，本学の合格者とはなりません。

〔１〕　大学入学共通テストの利用教科・科目等

大学入学共通テストの利用教科・科目及び利用方法は，別表（35～50ページ参照）の

とおりです。

大学入学共通テストにおいて，「地理歴史」及び「公民」並びに「理科」の試験時間に２科目受験する場合は，解答順に前半に受験した科目を「第１解答科目」，後半に受験した科目を「第２解答科目」とします。

〔２〕 教科・科目に係る個別テスト等の実施教科・科目等

教科・科目に係る個別テスト等の実施教科・科目等及び学部ごとの選抜方法は，別表（35～50ページ参照）のとおりです。

出願後は，選択した科目を変更することはできません。

〔３〕 総合順位方式（経済学部）

経済学部においては，大学入学共通テストの得点によりA型，B型の２つの配点方式を併用した総合順位方式を導入しています。

各受験者について，A型とB型のそれぞれの配点の順位を付け，２つの順位のうち，高順位となる順位をその者の総合順位としますので，出願時にA型，B型のどちらか一方の配点方式を選択する必要はありません。

総合順位方式による合格者決定の概要は以下のとおりです。

１．全受験者をA型の配点により採点し，順位を付けます。
２．全受験者をB型の配点により採点し，順位を付けます。
３．A型による順位とB型による順位のうち，高順位となる順位をその者の総合順位とします。
４．総合順位が高い順に合格者を決定します。

【総合順位方式の例】

募集人員５名，受験者数10名であり，それぞれの受験者のA型，B型の順位が次のようになったとします。

受験番号	A型順位	B型順位	総合順位
001	1	3	1
002	6	6	6
003	5	1	1
004	3	10	3
005	10	5	5
006	2	2	2
007	7	8	7
008	8	9	8
009	4	4	4
010	9	7	7

⇒

この場合に，総合順位順に並び替えると次のようになります。

募集人員は５名ですので，総合順位の上位５名，すなわち総合順位４位の受験番号009までが合格者となります。

受験番号	A型順位	B型順位	総合順位	
001	1	3	1	
003	5	1	1	
006	2	2	2	↑合格
004	3	10	3	
009	4	4	4	
005	10	5	5	不合格↓
002	6	6	6	
007	7	8	7	
010	9	7	7	
008	8	9	8	

〔4〕 ２段階選抜（医学部医学科）

医学部医学科においては，入学志願倍率が次の倍率を超えた場合に２段階選抜を実施します。

学科＼日程	前期日程
医　学　科	約４倍

第１段階選抜は，大学入学共通テストの成績（前期日程の選抜における配点）及び調査書の内容により行います。

第１段階選抜の合格者を対象に教科・科目に係る個別テスト等を実施し，最終的な合格者を決定します。

〔5〕 創造工学部の配点型について

創造工学部前期日程Aタイプにおいて，教科・科目に係る個別テスト等を２科目受験した受験生には，「配点Ⅰ」と「配点Ⅱ」の２つの配点型を導入しています（48ページ参照）。

教科・科目に係る個別テスト等を２科目受験した受験生には，大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の総合点がより高得点となる配点型を利用しますので，受験生が「配点Ⅰ」，「配点Ⅱ」のいずれかの配点型を選択する必要はありません。その概要は以下のとおりです。

１．教科・科目に係る個別テスト等を２科目受験した受験生について「配点Ⅰ」及び「配点Ⅱ」それぞれの配点型で採点を行います。

２．受験生毎に「配点Ⅰ」及び「配点Ⅱ」の総合点を比較し，高得点となる配点型を利用します。利用する配点型での総合点を当該受験生の得点とします。

【教科・科目に係る個別テスト等を２科目受験した受験生の配点例】

番号	氏名	配点Ⅰ（総合点）	配点Ⅱ（総合点）	得点（総合点）
001	A	789	754	789
002	B	672	675	675
003	C	609	684	684

別表　大学入学共通テストの利用教科・科目及び教科・科目に係る個別テスト等の実施教科・科目等について（一般選抜）
【教育学部】

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">教科・科目に係る個別テスト等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th></tr>
<tr><td rowspan="6">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="2">幼児教育コース・小学校教育コース</td><td rowspan="2">前期日程</td><td>国</td><td>「国」　必須</td><td>国
外
数
理
実技試験</td><td>『国語』
『英語』
（『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』）
（『物基・物』，『化基・化』，『生基・生』，『地基・地』から1科目選択）
（「音楽」，「美術」，「保健体育」から1つ選択）
〔1教科1科目〕</td></tr>
<tr><td>地歴
公民
理</td><td>（「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「公，倫」，「公，政・経」，「地総／歴総／公」）から1又は2科目　から3科目
（「物基／化基／生基／地基」，「物」，「化」，「生」，「地」）から1又は2科目</td><td>その他</td><td>面接</td></tr>
<tr><td>小学校教育コース</td><td>後期日程</td><td>数</td><td>「数Ⅰ，数A」　必須
「数Ⅱ，数B，数C」　必須</td><td>その他</td><td>面接</td></tr>
<tr><td rowspan="3">中学校教育コース</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>A系</td><td>外
情</td><td>（「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」）から1科目
「情Ⅰ」　必須
〔6教科8科目又は7教科8科目〕</td><td>国
外</td><td>『国語』
『英語』
から1教科
〔1教科1科目〕</td></tr>
<tr><td>B系</td><td></td><td></td><td>数
理</td><td>（『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』）
（『物基・物』，『化基・化』，『生基・生』，『地基・地』から1科目選択）から1教科
〔1教科1科目〕</td></tr>
<tr><td>C系</td><td></td><td>実技試験</td><td>（「音楽」，「美術」，「保健体育」から1つ選択）</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td>その他</td><td>面接</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>後期日程</td><td colspan="2"></td><td>その他</td><td>面接</td></tr>
</table>

（注）【学科等名】，【区分】欄

学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程は，A，B，Cの3系別に募集します。

系は教科・科目に係る個別テスト等における教科・科目等の区分を表します。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　地歴，公民，理科の利用科目等は次のとおりです。

●地歴，公民で指定した科目から1科目選択し，理科で基礎を付した科目を含む2科目を選択する場合，基礎を付した科目で解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の理科の科目は選択できません（例：「物理基礎」と「物理」等）。

●地歴，公民で指定した科目から2科目選択する場合，「公，倫」と「公，政・経」の組み合わせは選択できません。また「地総／歴総／公」を選択する場合は，解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の地歴，公民の科目は選択できません。

●地歴，公民について指定した科目から2科目並びに理科について指定した科目から2科目受験している場合には，第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。ただし，理科について基礎を付した科目を選択し，解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の理科の科目を選択した場合には，第1解答科目の2科目及び地歴，公民の第2解答科目を用います。

2　外国語で「英」を選択した場合は，リスニングを含みます。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1　学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程の教科・科目等は，A系が国語又は外国語，B系が数学又は理科，C系が実技試験（「音楽」，「美術」，「保健体育」からいずれか1つ選択）です。

2　『　』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』・・・1科目，『物基・物』・・・1科目）

3　『国語』　「現代の国語」，「言語文化」，「論理国語」，「文学国語」，「古典探究」の5科目を合わせた範囲から出題します。

4　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」，「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」，「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」，「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題では，「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。
「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」，「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題では，「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル），（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。

5　外国語『英語』　「英語コミュニケーションⅠ」，「英語コミュニケーションⅡ」，「英語コミュニケーションⅢ」，「論理・表現Ⅰ」，「論理・表現Ⅱ」，「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。

6　理科
『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地基・地』は，「地学基礎」と「地学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入学共通テストの配点等】
1　数学の①②は，大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
2　外国語で「英」を選択した場合の配点は，リーディング「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，リーディング「200点」とします。
3　大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは，次のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="13">大学入学共通テストの配点等</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学科名等</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">国語</th><th rowspan="2" colspan="2">地歴
公民</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="3">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">情報</th><th rowspan="2">配点
合計</th><th rowspan="2">成績の利用方法等</th></tr>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>基礎を付した科目</th><th colspan="2"></th></tr>
<tr><td rowspan="8">学校教育教員養成課程</td><td rowspan="2">Ⅰ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科で指定した科目から２科目を選択した場合</td><td rowspan="8">前期日程・後期日程</td><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td colspan="2">100　100</td><td>200</td><td>20</td><td>920</td><td></td></tr>
<tr><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
100</td><td colspan="2">100</td><td>200</td><td>20</td><td>920</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">Ⅱ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科で指定した科目から１科目を選択した場合</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td colspan="2">100</td><td>200</td><td>20</td><td>920</td><td></td></tr>
<tr><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
100</td><td colspan="2"></td><td>200</td><td>20</td><td>920</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">Ⅲ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科で指定した科目から２科目を選択した場合</td><td>200</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>200</td><td>20</td><td>920</td><td rowspan="2">＊印を付したものについては，「地歴，公民」，「理科」の各第１解答科目と，「地歴，公民」，「理科」の第２解答科目のうち高い方の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>200</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
＊100</td><td colspan="2">＊100</td><td>200</td><td>20</td><td>920</td></tr>
<tr><td>（上記のうち，理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合）</td><td>200</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
＊100</td><td colspan="2">＊100</td><td>200</td><td>20</td><td>920</td><td>＊印を付したものについて，第１解答科目の成績を用います。</td></tr>
</table>

【教科・科目に係る個別テスト等の配点等】
　＊印については，各区分でいずれか１つを選択。

<table>
<tr><th colspan="10">教科・科目に係る個別テスト等の配点等</th></tr>
<tr><th colspan="2">学科等名</th><th colspan="2">区分</th><th>国語</th><th>数学</th><th>理科</th><th>外国語</th><th>実技</th><th>面接</th><th>配点
合計</th></tr>
<tr><td rowspan="6">学校教育教員養成課程</td><td>幼児教育コース</td><td colspan="2">前期日程</td><td>＊150</td><td>＊150</td><td>＊150</td><td>＊150</td><td>＊150</td><td>250</td><td>400</td></tr>
<tr><td rowspan="2">小学校教育コース</td><td colspan="2">前期日程</td><td>＊150</td><td>＊150</td><td>＊150</td><td>＊150</td><td>＊150</td><td>250</td><td>400</td></tr>
<tr><td colspan="2">後期日程</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>300</td><td>300</td></tr>
<tr><td rowspan="4">中学校教育コース</td><td rowspan="3">前期日程</td><td>A系</td><td>＊150</td><td></td><td></td><td>＊150</td><td></td><td>250</td><td>400</td></tr>
<tr><td>B系</td><td></td><td>＊150</td><td>＊150</td><td></td><td></td><td>250</td><td>400</td></tr>
<tr><td>C系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>150</td><td>250</td><td>400</td></tr>
<tr><td colspan="2">後期日程</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>300</td><td>300</td></tr>
</table>

【法 学 部】

<table>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">教科・科目に係る個別テスト等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th></tr>
<tr><td rowspan="10">(昼間コース)
法学科</td><td rowspan="7">前期日程</td><td>国</td><td>「国」　必須</td><td rowspan="3">数
外</td><td rowspan="3">『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』
『英語』
から1教科
〔1教科1科目〕</td></tr>
<tr><td>地歴
公民</td><td>(「地総，地探」,「歴総，日探」,「歴総，世探」)
から1又は2科目
(「公，倫」,「公，政・経」) から1科目
から2科目</td></tr>
<tr><td>数</td><td>(「数Ⅰ，数A」,「数Ⅰ」) から1科目
「数Ⅱ，数B，数C」　必須</td></tr>
<tr><td>理</td><td>(「物基／化基／生基／地基」,「物」,「化」,「生」,「地」) から1科目</td><td rowspan="3">その他</td><td rowspan="3">小論文</td></tr>
<tr><td rowspan="3">後期日程</td><td>外</td><td>(「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」) から1科目</td></tr>
<tr><td>情</td><td>「情Ⅰ」　必須</td></tr>
<tr><td colspan="2">〔6教科8科目又は7教科8科目〕</td></tr>
</table>

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　理科について2科目受験している場合は，第1解答科目の成績を用います。
なお,「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は，いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。

2　外国語で「英」を選択した場合は，リスニングを含みます。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1　『　』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお,『　』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』・・・1科目)

2　数学　「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」,「数C」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（図形の性質),（場合の数と確率）を,「数B」は（数列）を,「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。

3　外国語『英語』　「英語コミュニケーションⅠ」,「英語コミュニケーションⅡ」,「英語コミュニケーションⅢ」,「論理・表現Ⅰ」,「論理・表現Ⅱ」,「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。

4　小論文　広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【大学入学共通テストの配点等】
1　数学の①②は，大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
2　外国語で「英」を選択した場合の配点は，リーディング「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，リーディング「200点」とします。
3　大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは，次のⅠ～Ⅷの８通りです。

大学入学共通テストの配点等														
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴	公民	数学		理科			外国語	情報	配点合計	成績の利用方法等
						①	②	基礎を付した科目						
（昼間コース）法学科	Ⅰ　地歴，公民で指定した科目からそれぞれ１科目選択し，理科は基礎を付した科目を選択した場合	前期日程・後期日程	200	100	100	100	100	(50)　(50) 100			200	25	925	
	Ⅱ　地歴，公民で指定した科目からそれぞれ１科目選択し，理科は基礎を付さない科目から１科目を選択した場合		200	100	100	100	100		100		200	25	925	
	Ⅲ　地歴，公民で指定した科目からそれぞれ１科目選択し，理科は基礎を付した科目並びに基礎を付さない科目から１科目を選択した場合		200	100	100	100	100	(50)　(50) ＊100	＊100		200	25	925	＊印を付したものについては，第１解答科目の成績を用います。
	Ⅳ　地歴，公民で指定した科目からそれぞれ１科目選択し，理科は基礎を付さない科目から２科目を選択した場合		200	100	100	100	100		＊100	＊100	200	25	925	＊印を付したものについては，第１解答科目の成績を用います。
	Ⅴ　地歴で指定した科目から２科目選択し，理科は基礎を付した科目を選択した場合		200	200 （2科目）		100	100	(50)　(50) 100			200	25	925	
	Ⅵ　地歴で指定した科目から２科目選択し，理科は基礎を付さない科目から１科目を選択した場合		200	200 （2科目）		100	100		100		200	25	925	
	Ⅶ　地歴で指定した科目から２科目選択し，理科は基礎を付した科目並びに基礎を付さない科目から１科目を選択した場合		200	200 （2科目）		100	100	(50)　(50) ＊100	＊100		200	25	925	＊印を付したものについては，第１解答科目の成績を用います。
	Ⅷ　地歴で指定した科目から２科目選択し，理科は基礎を付さない科目から２科目を選択した場合		200	200 （2科目）		100	100		＊100	＊100	200	25	925	＊印を付したものについては，第１解答科目の成績を用います。

【教科・科目に係る個別テスト等の配点等】
　＊印は選択教科・科目を表します。

教科・科目に係る個別テスト等の配点等					
学科等名	区分	数学	外国語	小論文	配点合計
（昼間コース）法学科	前期日程	＊350	＊350		350
	後期日程			350	350

【経済学部】

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			教科・科目に係る個別テスト等	
		教科	科目名等		教科等	科目名等
(昼間コース) 経済学科	前期日程	国	「国」	必須	外	『英語』 〔1教科1科目〕
		地歴 公民	(「地総，地探」,「歴総，日探」,「歴総，世探」, 「公，倫」,「公，政・経」)	から1科目		
		理	(「物基／化基／生基／地基」,「物」,「化」, 「生」,「地」)	から1科目		
		数	「数Ⅰ，数A」	必須		
	後期日程		「数Ⅱ，数B，数C」	必須	その他	小論文
		外	(「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」)	から1科目		
		情	「情Ⅰ」	必須		
				〔6教科7科目〕		

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　地歴及び公民について2科目受験している場合は，第1解答科目の成績を用います。
ただし，指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は，教科・科目に係る個別テスト等を受験できませんので，注意してください。

2　理科について2科目受験している場合は，第1解答科目の成績を用います。
なお，「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は，いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。

3　外国語で「英」を選択した場合は，リスニングを含みます。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1　『　』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を1科目と数えます。

2　外国語『英語』　「英語コミュニケーションⅠ」,「英語コミュニケーションⅡ」,「英語コミュニケーションⅢ」,「論理・表現Ⅰ」,「論理・表現Ⅱ」,「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。

3　小論文　　広く経済・社会等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】
1　前期日程，後期日程ともに，異なる教科に傾斜配点をしたA型とB型を用意します。前期日程の前期A型は教科・科目に係る個別テスト等の前期A型，前期日程の前期B型は教科・科目に係る個別テスト等の前期B型との組み合わせとなります。また，後期日程の後期A型は教科・科目に係る個別テスト等の後期A型，後期日程の後期B型は教科・科目に係る個別テスト等の後期B型との組み合わせとなります。
2　合格者の決定においては，総合順位方式を利用します。各受験者について，A型とB型のそれぞれの配点の順位を付け，2つの順位のうち，高順位となる順位をその者の総合順位としますので，出願時A型，B型のどちらか一方の配点方式を選択する必要はありません。
　なお，総合順位方式の詳細については33ページを参照してください。
3　数学の①②は，大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。
4　外国語で「英」を選択した場合の配点は，前期A型ではリーディング「240点」，リスニング「60点」の計「300点」とします。前期B型，後期A型，後期B型ではリーディング「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，前期A型ではリーディング「300点」，前期B型，後期A型，後期B型ではリーディング「200点」とします。
5　大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは，次のⅠ～Ⅱの2通りです。

大学入学共通テストの配点等

学科等名	選択パターン	区分		国語	地歴公民	数学		理科		外国語	情報	配点合計
						①	②	基礎を付した科目				
（昼間コース）経済学科	Ⅰ　理科で基礎を付した科目を選択した場合	前期日程	前期A型	300	100（1科目）	150	150	(50)+(50)→100		300	25	1125
			前期B型	200	100（1科目）	250	250	(50)+(50)→100		200	25	1125
	Ⅱ　理科で基礎を付さない科目を選択した場合		前期A型	300	100（1科目）	150	150		100（1科目）	300	25	1125
			前期B型	200	100（1科目）	250	250		100（1科目）	200	25	1125
	Ⅰ　理科で基礎を付した科目を選択した場合	後期日程	後期A型	200	100（1科目）	100	100	(50)+(50)→100		200	25	825
			後期B型	200	50（1科目）	100	100	(25)+(25)→50		200	25	725
	Ⅱ　理科で基礎を付さない科目を選択した場合		後期A型	200	100（1科目）	100	100		100（1科目）	200	25	825
			後期B型	200	50（1科目）	100	100		50（1科目）	200	25	725

【教科・科目に係る個別テスト等の配点等】
1　教科・科目に係る個別テスト等の前期A型は大学入学共通テストの前期A型，教科・科目に係る個別テスト等の前期B型は大学入学共通テストの前期B型との組み合わせとなります。また，教科・科目に係る個別テスト等の後期A型は大学入学共通テストの後期A型，教科・科目に係る個別テスト等の後期B型は大学入学共通テストの後期B型との組み合わせとなります。
2　合格者の決定においては，総合順位方式を利用します。各受験者について，A型とB型のそれぞれの配点の順位を付け，2つの順位のうち，高順位となる順位をその者の総合順位としますので，出願時にA型，B型のどちらか一方の配点方式を選択する必要はありません。
　なお，総合順位方式の詳細については33ページを参照してください。

教科・科目に係る個別テスト等の配点等

学科等名	区分		外国語	小論文	配点合計
（昼間コース）経済学科	前期日程	前期A型	200		200
		前期B型	200		200
	後期日程	後期A型		200	200
		後期B型		300	300

【医 学 部】（医学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名			教科・科目に係る個別テスト等		
		教科	科目名等		教科等	科目名等	2段階選抜
医学科	前期日程	国	「国」	必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』	必須
		地歴 公民	（「地総，地探」，「歴総，日探」， 「歴総，世探」，「公，倫」， 「公，政・経」）	から1科目	理	（『物基・物』，『化基・化』， 『生基・生』）	から2科目
		数	「数Ⅰ，数A」	必須	外	『英語』	必須
			「数Ⅱ，数B，数C」	必須			〔3教科4科目〕
		理	（「物」，「化」，「生」）	から2科目	その他	面接	
		外	（「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」）	から1科目			
		情	「情Ⅰ」	必須			
				〔6教科8科目〕			

約4倍

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　地歴及び公民について2科目受験している場合は，第1解答科目の成績を用います。
ただし，指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は，教科・科目に係る個別テスト等を受験できませんので，注意してください。

2　外国語で「英」を選択した場合は，リスニングを含みます。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1　『　』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』･･･1科目，『物基・物』･･･1科目）

2　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」，「数C」の6科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル），（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。

3　理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は，「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

4　外国語『英語』「英語コミュニケーションⅠ」，「英語コミュニケーションⅡ」，「英語コミュニケーションⅢ」，「論理・表現Ⅰ」，「論理・表現Ⅱ」，「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入学共通テストの配点等】

1　数学の①②は，大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　外国語で「英」を選択した場合の配点は，リーディング「80点」，リスニング「20点」の計「100点」とします。
　ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，リーディング「100点」とします。

大学入学共通テストの配点等														
学科等名	選択パターン	区分	国語	地歴 公民	数学		理科				外国語	情報	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	基礎を付した科目							
医学科		前期日程	200	100 （1科目）	50	50			100	100	100	20	720	地歴，公民で指定した科目から2科目受験している場合には，第1解答科目の成績を用います。

【教科・科目に係る個別テスト等の配点等】

教科・科目に係る個別テスト等の配点等						
学科等名	区分	数学	理科	外国語	面接	配点 合計
医学科	前期日程	200	200	200	100	700

【医 学 部】（看護学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
看護学科	前期日程	国	「国」 必須	その他	面接
		地歴 公民	（「地総，地探」，「歴総，日探」， 「歴総，世探」，「公，倫」， 「公，政・経」，「地総／歴総／公」） から1科目		
		理	（「物基／化基／生基／地基」， 「物」，「化」，「生」） から1科目		
		数	（「数Ⅰ，数A」，「数Ⅱ，数B，数C」） から1科目		
		外	（「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」） から1科目		
		情	「情Ⅰ」 必須 〔6教科6科目〕		

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　地歴及び公民，理科について2科目受験している場合は，第1解答科目の成績を用います。
ただし，理科について指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は，教科・科目に係る個別テスト等を受験できませんので，注意してください。

2　「地総／歴総／公」を選択する場合は，いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。
「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は，地学基礎を除くいずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。

3　数学について指定した科目から2科目受験している場合は，高得点の科目の成績を用います。

4　外国語で「英」を選択した場合は，リスニングを含みます。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【大学入学共通テストの配点等】

1　数学の①②は，大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　外国語で「英」を選択した場合の配点は，リーディング「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，リーディング「200点」とします。

3　大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは次のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="11">大学入学共通テストの配点等</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">国語</th><th rowspan="2">地歴
公民</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="2">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">情報</th><th rowspan="2">配点
合計</th><th rowspan="2">成績の利用方法等</th></tr>
<tr><th>①</th><th>②</th><th>基礎を付した科目</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="2">看護学科</td><td>Ⅰ　理科で基礎を付した科目を選択した場合</td><td rowspan="2">前期日程</td><td>200</td><td>100
（１科目）</td><td colspan="2">140
（１科目）</td><td>(70)　(70)
140</td><td rowspan="2">200</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">800</td><td rowspan="2">地歴，公民，理科で指定した科目から２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
数学で指定した科目から２科目受験している場合には，高得点の科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td>Ⅱ　理科で基礎を付した科目を選択しない場合</td><td>200</td><td>100
（１科目）</td><td colspan="2">140
（１科目）</td><td></td><td>140
（１科目）</td></tr>
</table>

【教科・科目に係る個別テスト等の配点等】

<table>
<tr><th colspan="4">教科・科目に係る個別テスト等の配点等</th></tr>
<tr><th>学科等名</th><th>区分</th><th>面接</th><th>配点
合計</th></tr>
<tr><td>看護学科</td><td>前期日程</td><td>200</td><td>200</td></tr>
</table>

【医 学 部】（臨床心理学科）

学科等名	区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		教科・科目に係る個別テスト等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
臨床心理学科	前期日程	国	「国」 必須	国 数	『国語』 （『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』）から1教科
		地歴 公民 理	（「地総，地探」，「歴総，日探」，「歴総，世探」，「公，倫」，「公，政・経」，「地総／歴総／公」）から1又は2科目 （「物基／化基／生基／地基」，「物」，「化」，「生」）から1又は2科目 から3科目	外	『英語』 必須 〔2教科2科目〕
		数	「数Ⅰ，数A」 必須 「数Ⅱ，数B，数C」 必須	その他	面接
		外	（「英」，「独」，「仏」，「中」，「韓」）から1科目		
		情	「情Ⅰ」 必須 〔6教科8科目又は7教科8科目〕		

（注）【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　地歴，公民，理科の利用科目等は次のとおりです。

●地歴，公民で指定した科目から1科目選択する場合は，理科は2科目選択してください。理科で指定した科目から1科目選択する場合は，地歴，公民は2科目選択してください。指定した科目から選択していない場合は，教科・科目に係る個別テスト等を受験できませんので，注意してください。

●地歴，公民，理科について，1科目選択する場合において2科目受験しているときは，第1解答科目の成績を用います。

●地歴，公民の科目のうち「公，倫」と「公，政・経」の組み合わせは選択できません。

●地歴，公民の科目のうち「地総／歴総／公」を選択する場合は，解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の地歴，公民の科目は選択できません。

●「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は，解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の理科の科目は選択できません（例：「物理基礎」と「物理」等）。

●「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は，地学基礎を除くいずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。

●地歴，公民について指定した科目から2科目並びに理科について指定した科目から2科目受験している場合には，第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。ただし，理科について「物基／化基／生基／地基」を選択し，解答した2つの出題範囲と同一名称を含む他の理科の科目を選択した場合には，第1解答科目の2科目及び地歴，公民の第2解答科目を用います。

2　外国語で「英」を選択した場合は，リスニングを含みます。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1　『　』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を1科目と数えます。（例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』･･･1科目，『物基・物』･･･1科目）

2　『国語』　「現代の国語」，「言語文化」，「論理国語」，「文学国語」，「古典探究」の5科目を合わせた範囲から出題します。

3　数学　「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」，「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」，「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数A」，「数B」，「数C」の5科目を合わせた範囲から出題する問題では，「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。
「数Ⅰ」，「数Ⅱ」，「数Ⅲ」，「数A」，「数B」，「数C」の6科目を合わせた範囲から出題する問題では，「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル），（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。

4　外国語『英語』　「英語コミュニケーションⅠ」，「英語コミュニケーションⅡ」，「英語コミュニケーションⅢ」，「論理・表現Ⅰ」，「論理・表現Ⅱ」，「論理・表現Ⅲ」の6科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入学共通テストの配点等】

1　数学の①②は，大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　外国語で「英」を選択した場合の配点は，リーディング「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，リーディング「200点」とします。

3　大学入学共通テストの利用教科・科目の選択パターンは次のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="12">大学入学共通テストの配点等</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">国語</th><th colspan="2">地歴</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="2">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">情報</th><th rowspan="2">配点合計</th><th rowspan="2">成績の利用方法等</th></tr>
<tr><th>公民</th><th>①</th><th>②</th><th>基礎を付した科目</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="8">臨床心理学科</td><td rowspan="2">Ⅰ　地歴，公民で指定した科目から１科目選択し，理科は２科目を選択した場合</td><td rowspan="8">前期日程</td><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>100</td><td>100</td><td>(45)　(45)
90</td><td>90</td><td>200</td><td>20</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td>200</td><td colspan="2">100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>90　90</td><td>200</td><td>20</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">Ⅱ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科は１科目を選択した場合</td><td rowspan="2">200</td><td>90</td><td>90</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2">(50)　(50)
100</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2">200</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">900</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>180</td><td></td></tr>
<tr><td>200</td><td>90</td><td>90</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>100</td><td>200</td><td>20</td><td>900</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">Ⅲ　地歴，公民で指定した科目から２科目選択し，理科も２科目を選択した場合</td><td rowspan="2">200</td><td>90</td><td>90</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2">100</td><td rowspan="2">(50)　(50)
＊100</td><td rowspan="2">＊100</td><td rowspan="2">200</td><td rowspan="2">20</td><td rowspan="2">900</td><td rowspan="2">「地歴，公民」，「理科」の第２解答科目のうち，「地歴，公民」の成績が高い場合，＊印を付した「理科」の第１解答科目の成績を用います。（「理科」の第２解答科目の成績は用いません。）</td></tr>
<tr><td>180</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">（上記のうち，理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合）</td><td>200</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>100</td><td>100</td><td>(45)　(45)
90</td><td>90</td><td>200</td><td>20</td><td>900</td><td rowspan="2">「地歴，公民」，「理科」の第２解答科目のうち，「理科」の成績が高い場合，＊印を付した「地歴，公民」の第１解答科目の成績を用います。（「地歴，公民」の第２解答科目の成績は用いません。）</td></tr>
<tr><td>200</td><td>＊100</td><td>＊100</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td>90　90</td><td>200</td><td>20</td><td>900</td></tr>
<tr><td>（上記のうち，理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合）</td><td>200</td><td>90</td><td>90</td><td>100</td><td>100</td><td>(50)　(50)
＊100</td><td>＊100</td><td>200</td><td>20</td><td>900</td><td>＊印を付したものについて，第１解答科目の成績を用います。</td></tr>
</table>

【教科・科目に係る個別テスト等の配点等】

教科・科目に係る個別テスト等の配点等					
学科等名	区分	国語又は数学	外国語	面接	配点合計
臨床心理学科	前期日程	200	200	100	500

【創造工学部】

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">学科等名</th><th colspan="2" rowspan="2">区分</th><th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">教科・科目に係る個別テスト等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th></tr>
<tr><td rowspan="3">創造工学科</td><td rowspan="2">全コース</td><td rowspan="2">前期日程</td><td rowspan="2">Aタイプ</td><td>国</td><td>「国」　必須</td><td>数
理</td><td>『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』
(『物基・物』,『化基・化』　から1科目)　数学と理科の2科目又は，数学若しくは理科の1科目</td></tr>
<tr><td>地歴
公民</td><td>(「地総，地探」,「歴総，日探」,「歴総，世探」,「公，倫」,「公，政・経」,「地総／歴総／公」)　から1科目
(「数Ⅰ，数A」,「数Ⅰ」)　から1科目
(「数Ⅱ，数B，数C」)　必須
「物」　必須
(「化」,「生」,「地」)　から1科目
(「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」)　から1科目
「情Ⅰ」　必須
〔6教科8科目〕</td><td></td><td>〔2教科2科目又は，1教科1科目〕</td></tr>
<tr><td>造形・メディアデザインコース
防災・危機管理コース　情報コース</td><td>Bタイプ</td><td>国
地歴
公民
数

理

外
情</td><td>「国」　必須
(「地総，地探」,「歴総，日探」,「歴総，世探」,「公，倫」,「公，政・経」,「地総／歴総／公」)　から1科目
(「数Ⅰ，数A」,「数Ⅰ」)　から1科目
(「数Ⅱ，数B，数C」)　必須
(「物基／化基／生基／地基」,「物」,「化」,「生」,「地」)　から1科目
(「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」)　から1科目
「情Ⅰ」　必須
〔6教科7科目〕</td><td>〈造形・メディアデザインコース〉
数
理

その他
総合問題　から1科目
〔1教科1科目〕

〈防災・危機管理コース，情報コース〉
数
理
『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』
(『物基・物』,『化基・化』,『地基・地』　から1科目)　から1科目
〔1教科1科目〕</td><td>『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』
(『物基・物』,『化基・化』　から1科目)　から1科目</td></tr>
<tr><td>全コース</td><td>後期日程</td><td>国
地歴
公民
数

理
外
情</td><td>「国」　必須
(「地総，地探」,「歴総，日探」,「歴総，世探」,「公，倫」,「公，政・経」,「地総／歴総／公」)　から1科目
(「数Ⅰ，数A」,「数Ⅰ」)　から1科目
(「数Ⅱ，数B，数C」)　必須
(「物」,「化」,「生」,「地」)　から2科目
(「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」)　から1科目
「情Ⅰ」　必須
〔6教科8科目〕</td><td>その他</td><td>小論文</td></tr>
</table>

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　地歴及び公民について2科目受験している場合には，第1解答科目の成績を用います。
なお，「地総／歴総／公」を選択する場合は，いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。

2　Bタイプの試験において，理科について2科目受験している場合は，第1解答科目の成績を用います。
なお，「物基／化基／生基／地基」を選択する場合は，いずれか2つの出題範囲を必ず選択解答してください。

3　外国語で「英」を選択した場合は，リスニングを含みます。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1　前期日程においては，出願時に受験科目を選択します。出願後に変更はできません。

2　『　』内記載のものは，2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお，『　』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』…1科目，『物基・物』…1科目)

3　数学　Aタイプの試験においては，「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」,「数C」の6科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル），（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。
Bタイプの試験においては，「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」,「数C」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は（図形の性質），（場合の数と確率）を，「数B」は（数列）を，「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。

4　理科　『物基・物』は，「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は，「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『地基・地』は，「地学基礎」と「地学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

5　総合問題　総合問題は，本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力，創造的態度及び表現力等を評価します。素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

6　小論文　小論文は，本学部学生に求められる素質や能力としての読解力，論理的思考力及び表現力等を評価します。
特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入学共通テストの配点等】

1　数学の①②は，大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　外国語で「英」を選択した場合の配点は，リーディング「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，リーディング「200点」とします。

3　教科・科目に係る個別テスト等を２科目受験した場合は，配点Ⅰ・Ⅱ毎の大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の総合点を計算し高得点となる配点型を利用します。
なお，詳細については34ページを参照してください。

4　Aタイプ（教科・科目に係る個別テスト等１科目/２科目・配点Ⅰ）における大学入学共通テストの成績（配点：900点）は，大学入学共通テストの合計得点（925点満点）に925分の900をかけた値とします。

5　Aタイプ（教科・科目に係る個別テスト等２科目・配点Ⅱ）における大学入学共通テストの成績（配点：600点）は，大学入学共通テストの合計得点（925点満点）に925分の600をかけた値とします。

6　Bタイプにおける大学入学共通テストの成績（配点：800点）は，大学入学共通テストの合計得点（825点満点）に825分の800をかけた値とします。

7　後期日程における大学入学共通テストの成績（配点：900点）は，大学入学共通テストの合計得点（925点満点）に925分の900をかけた値とします。

大学入学共通テストの配点等																
学科等名		選択パターン	区分			国語	地歴公民	数学		理科				外国語	情報	配点合計	成績の利用方法等
								①	②	基礎を付した科目							
創造工学科	全コース		前期日程	Aタイプ	教科・科目に係る個別テスト等１科目	(200)	(100) (１科目)	(100)	(100)			(100)	(100)	(200)	(25)	900 (925)	地歴，公民で２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
					教科・科目に係る個別テスト等２科目　配点Ⅰ	(200)	(100) (１科目)	(100)	(100)			(100)	(100)	(200)	(25)	900 (925)	地歴，公民で２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
					教科・科目に係る個別テスト等２科目　配点Ⅱ	(200)	(100) (１科目)	(100)	(100)			(100)	(100)	(200)	(25)	600 (925)	
	造形・メディアデザインコース 防災・危機管理コース　情報コース	理科で基礎を付した科目を選択した場合		Bタイプ		(200)	(100) (１科目)	(100)	(100)	(50)　(50) (100)				(200)	(25)	800 (825)	地歴，公民で２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。 理科で基礎を付さない科目を２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。 理科で基礎を付した科目並びに基礎を付さない科目を１科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。
		理科で基礎を付さない科目から２科目を選択した場合				(200)	(100) (１科目)	(100)	(100)			(100)		(200)	(25)	800 (825)	
	全コース		後期日程			(200)	(100) (１科目)	(100)	(100)			(100)	(100)	(200)	(25)	900 (925)	地歴，公民で２科目受験している場合には，第１解答科目の成績を用います。

【教科・科目に係る個別テスト等の配点等】

＊印は選択教科・科目を表します。受験する科目数及び，教科・科目を出願時に選択します。

教科・科目に係る個別テスト等を２科目受験した場合は，配点Ⅰ・Ⅱ毎の大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の総合点を計算し高得点となる配点型を利用します。

なお，詳細については34ページを参照してください。

※１：教科・科目に係る個別テスト等の配点を300点とし，数学・理科のうち，高得点の教科の配点を300点とし，もう一方の教科は利用しない。

※２：教科・科目に係る個別テスト等の配点を600点とし，数学・理科のうち，高得点の教科の配点を400点，もう一方の教科の配点を200点とする。

教科・科目に係る個別テスト等の配点等												
学科等名		区分				数学	理科			総合問題	小論文	配点合計
							物理	化学	地学			
創造工学科	全コース	前期日程	Aタイプ	教科・科目に係る個別テスト等１科目		＊300	＊300	＊300				300
				教科・科目に係る個別テスト等２科目	配点Ⅰ	※１	＊※１	＊※１				300
					配点Ⅱ	※２	＊※２	＊※２				600
	造形・メディアデザインコース		Bタイプ			＊200	＊200	＊200		＊200		200
	防災・危機管理コース，情報コース					＊200	＊200	＊200	＊200			200
	全コース	後期日程									100	100

【農 学 部】

<table>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">大学入学共通テストの利用教科・科目名</th><th colspan="2">教科・科目に係る個別テスト等</th></tr>
<tr><th>教科</th><th>科目名等</th><th>教科等</th><th>科目名等</th></tr>
<tr><td rowspan="10">応用生物科学科</td><td rowspan="8">前期日程</td><td>国</td><td>「国」　必須</td><td rowspan="3">数
理</td><td rowspan="3">(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』又は
『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C』)
(『物基・物』,『化基・化』,
『生基・生』から１科目)　から１教科</td></tr>
<tr><td>地歴
公民</td><td>(「地総，地探」,「歴総，日探」,「歴総，世探」,
「公，倫」,「公，政・経」,「地総／歴総／公」)　から１科目</td></tr>
<tr><td>数</td><td>(「数Ⅰ，数A」,「数Ⅰ」)　から１科目</td></tr>
<tr><td></td><td>「数Ⅱ，数B，数C」　必須</td><td colspan="2">〔１教科１科目〕</td></tr>
<tr><td>理</td><td>(「物」,「化」,「生」,「地」)　から２科目</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>外</td><td>(「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」)　から１科目</td></tr>
<tr><td>情</td><td>「情Ⅰ」　必須</td></tr>
<tr><td></td><td>〔６教科８科目〕</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">後期日程</td><td>数</td><td>(「数Ⅰ，数A」,「数Ⅰ」)　から１科目</td></tr>
<tr><td></td><td>「数Ⅱ，数B，数C」　必須</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>理</td><td>(「物」,「化」,「生」,「地」)　から１科目</td></tr>
<tr><td>外</td><td>(「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」)　から１科目
〔３教科４科目〕</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

(注)【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

1　地歴及び公民について２科目受験している場合は，第１解答科目の成績を用います。
なお,「地総／歴総／公」を選択する場合は，いずれか２つの出題範囲を必ず選択解答してください。

2　(後期日程のみ) 理科について２科目受験している場合は，第１解答科目の成績を用います。
ただし，指定した科目を第１解答科目として受験していない場合は，合格者とはなりませんので，注意してください。

3　外国語で「英」を選択した場合は，リスニングを含みます。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者はこの限りではありません。

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

1　『　』内記載のものは，２つの科目を総合したもの又は２つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお,『　』内の記載を１科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C』・・・１科目,『物基・物』・・・１科目)

2　数学　「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」,「数C」の５科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」,「数C」の６科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」,「数C」の５科目を合わせた範囲から出題する問題では,「数A」は（図形の性質),（場合の数と確率）を,「数B」は（数列）を,「数C」は（ベクトル）を出題範囲とします。
「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」,「数C」の６科目を合わせた範囲から出題する問題では,「数A」は（図形の性質),（場合の数と確率）を,「数B」は（数列）を,「数C」は（ベクトル),（平面上の曲線と複素数平面）を出題範囲とします。

3　理科　『物基・物』は,「物理基礎」と「物理」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は,「化学基礎」と「化学」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は,「生物基礎」と「生物」の２科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入学共通テストの配点等】

1　数学の①②は，大学入学共通テストで選択受験できる出題科目のグループを表します。

2　外国語で「英」を選択した場合の配点は，リーディング「160点」，リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし，大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は，リーディング「200点」とします。

<table>
<tr><th colspan="13">大学入学共通テストの配点等</th></tr>
<tr><th rowspan="2">学科等名</th><th rowspan="2">選択パターン</th><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">国語</th><th rowspan="2">地歴
公民</th><th colspan="2">数学</th><th colspan="4">理科</th><th rowspan="2">外国語</th><th rowspan="2">情報</th><th rowspan="2">配点
合計</th><th rowspan="2">成績の利用方法等</th></tr>
<tr><th>①</th><th>②</th><th colspan="2">基礎を付した科目</th><th colspan="2"></th></tr>
<tr><td rowspan="2">応用生物科学科</td><td></td><td>前期日程</td><td>200</td><td>100
（1科目）</td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td><td>200</td><td>20</td><td>920</td><td>地歴，公民で2科目受験している場合には，第1解答科目の成績を用います。</td></tr>
<tr><td></td><td>後期日程</td><td></td><td></td><td>100</td><td>100</td><td></td><td></td><td colspan="2">200
（1科目）</td><td>200</td><td></td><td>600</td><td>理科で2科目受験している場合には，第1解答科目の成績を用います。</td></tr>
</table>

【教科・科目に係る個別テスト等の配点等】

＊印は選択教科・科目を表します。

<table>
<tr><th colspan="5">教科・科目に係る個別テスト等の配点等</th></tr>
<tr><th>学科等名</th><th>区分</th><th>数学</th><th>理科</th><th>配点
合計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">応用生物科学科</td><td>前期日程</td><td>＊200</td><td>＊200</td><td>200</td></tr>
<tr><td>後期日程</td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

〔6〕 実技試験（教育学部学校教育教員養成課程（前期日程）のみ）

<table>
<tr><td colspan="2">幼児教育コース，小学校教育コースで実技試験を受験する者及び中学校教育コースでＣ系を受験する者</td></tr>
<tr><td>音　　楽</td><td>実技試験（音楽）を受験する者は，下記の試験項目ａ～ｄのうち２項目を受験してください。
ａ．器楽：ピアノ
任意のソナタの中より第１楽章又は終楽章を演奏する（緩徐楽章を除く）
ｂ．器楽：ピアノ以外の楽器*
任意の１曲を無伴奏で演奏する
ｃ．声楽：アリア又は歌曲より任意の１曲を演奏する（歌曲のみ移調可）
ｄ．新曲視唱

備考　１．演奏は，すべて暗譜によるものとし，繰り返しは省略してください。
２．ｂ．器楽：ピアノ以外の楽器は，各自持参してください。
３．ａ～ｃは演奏する楽譜（伴奏譜を含む）を入学願書に添えて提出してください。

* ヴァイオリン，ヴィオラ，チェロ，コントラバス，フルート，リコーダー，オーボエ，クラリネット，ファゴット，サクソフォーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，打楽器，琴，三味線</td></tr>
<tr><td>美　　術</td><td>実技試験（美術）を受験する者は，下記の試験項目を受験してください。
◆鉛筆静物デッサン
（モチーフは２～３種類 ３～５個程度，用紙は四つ切り画用紙，制作時間は３時間30分）

備考　１．鉛筆，消しゴム（練り消しゴムを含む），羽ぼうき（又はダスティングブラシ），カッターナイフ，デッサンスケール，はかり棒など試験に必要な用具は各自で持参してください。
２．用紙，画板，画板用クリップは用意します。</td></tr>
<tr><td>保健体育</td><td>実技試験（保健体育）を受験する者は，下記（１），（２）を受験してください。
（１） 基礎運動能力テスト３種目
（ジグザグ走，シャトルスタミナテスト，立ち５段跳び）
（２） 総合運動能力テスト４種目
（陸上競技，器械運動，バレーボール，バスケットボール）

備考　１．十分に運動のできる服装を用意してください。
２．全ての実技試験を体育館で行います。体育館シューズを持参してください。
３．陸上競技はハードル走，器械運動はマット運動を行います。</td></tr>
</table>

〔7〕 小 論 文

実施学部名	小 論 文 の 概 要
法 学 部	小論文の目的は，受験者の読解力，文章表現力及び論理的思考力を評価するとともに，学校教育法で定められている高等学校教育の目標である「社会について，広く深い理解と健全な批判力」を身につけているかどうかを判定することにあります。 素材は，特定の教科にかたよらず，広く社会・政治・法律・人文等の分野から選ばれます。
経 済 学 部	小論文の目的は，受験者の読解力，文章表現力及び論理的思考力を評価するものです。評価の観点は，資料を的確に理解し分析できているかという点と，自分の考えを他者に伝えるために，文章を論理的に構成し，かつ分かり易く表現しているかという点に置かれます。 素材は，特定の教科にかたよらず，広く経済・社会等の分野から選ばれます。
創造工学部	小論文は，本学部学生に求められる素質や能力としての読解力，論理的思考力及び表現力等を評価するための論述式問題です。素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

〔8〕 総合問題

実施学部名	総 合 問 題 の 概 要
創造工学部	総合問題は，本学部学生に求められる素質としての社会に開かれた創造的思考力，創造的態度及び表現力等を評価します。 素材は，特定の教科にかたよらず，広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

〔9〕 面 接

実施学部名		面 接 の 概 要
教 育 学 部		教育学部における集団面接は，教職を目指すうえで必要なコミュニケーション能力を中心とした適性及び教職志望の強さをみるために行います。
医学部	医 学 科	医学科における面接は，医師及び医学研究者としての適性をみるために行います。 **地域枠（一般）** 「地域枠（一般）」の大学入学共通テストの教科・科目及び教科・科目に係る個別テスト等の実施教科・科目等については，一般選抜（前期日程）と同じです。それに加え，香川県による面接があります。
	看 護 学 科	看護学科における面接は，将来，看護・医療に従事する者としての適性をみるために行います。
	臨床心理学科	臨床心理学科における面接は，心理援助者としての適性をみるために行います。

４．教科・科目に係る個別テスト等の日時及び場所

〔１〕教科・科目に係る個別テスト等の日時

（前期日程）

月日 / 学部等		２月25日（木）						２月26日（金）
教育学部	教科等		国語・数学	面　接				
	時　間		9：00～10：30	11：20～				
	教科等			理科・外国語		面　接		
	時　間			11：20～12：50		14：00～		
	教科等		実技（音楽・美術・保健体育）	面　接				
	時　間		9：00～	実技終了後				
法学部	教科等		数　学	外国語				
	時　間		9：00～10：30	11：20～12：50				
経済学部	教科等			外国語				
	時　間			11：20～12：50				
医学部 医学科	教科等		数　学	外国語		※理科		※面　接
	時　間		8：30～10：00	10：15～11：45		12：35～15：35		9：00～
医学部 看護学科	教科等		面　接					
	時　間		9：00～					
医学部 臨床心理学科	教科等		国語・数学	外国語		面　接		※面　接
	時　間		8：30～10：00	10：15～11：45		12：45～		9：00～
創造工学部	教科等		数　学	理　科・総合問題				
	時　間		9：00～10：30	11：20～12：50				
農学部	教科等		数　学	理　科				
	時　間		9：00～10：30	11：20～12：50				

（後期日程）

月日 / 学部等		３月12日（金）	
教育学部	教科等	面　接	
	時　間	10：00～	
法学部	教科等	小　論　文	
	時　間	10：00～12：00	
経済学部	教科等	小　論　文	
	時　間	10：00～12：00	
創造工学部	教科等	小　論　文	
	時　間	10：00～11：30	

《集合時間》

各自，最初に受験する教科等の試験開始時刻30分前までに試験場に集合してください。

ただし，【医学部　医学科・臨床心理学科】前期日程（第１日目）においては全受験者とも，午前８時20分までに，【教育学部】後期日程においては全受験者とも，午前９時30分までに集合してください。

《注意事項》

【医学部医学科】

※　医学部医学科の理科は，出願時に選択した２科目を３時間で解答します。

※　医学部医学科の面接は，第１段階選抜結果発表後に，受験者の割り振りを本学医学部ホームページ（https://www.med.kagawa-u.ac.jp/）上で公表します。

面接に関する個別の問い合わせには応じません。

【医学部臨床心理学科】

※　医学部臨床心理学科の面接は，受験者数によっては2月26日にも実施します。なお，該当者についてはあらかじめ通知します。

面接に関する個別の問い合わせには応じません。

〔２〕教科・科目に係る個別テスト等の場所

⑴ 教科・科目に係る個別テスト等実施会場

教科・科目に係る個別テスト等は下記の試験場で実施します。各試験場については，巻末の試験場案内図を参照してください。

なお，**前期日程**では，学外試験場（**関西地区試験場**）を設置します。学外試験場を設置する学部は，下記のとおりです。試験は，香川大学試験場と同じ日時で実施します。後期日程については，学外試験場は設けず，全て香川大学で試験を実施しますので，注意してください。

志望学部	教科・科目に係る個別テスト等実施会場	
	香川大学試験場 **【前期日程・後期日程】** ※医学部は後期日程を実施しません。 ※農学部の後期日程は教科・科目に係る個別テスト等を実施しません。	関西地区試験場 **【前期日程のみ】**
教育学部	教育学部（幸町北キャンパス） 高松市幸町１番１号	
法学部	法学部（幸町南キャンパス） 高松市幸町２番１号	
経済学部	経済学部（幸町南キャンパス） 高松市幸町２番１号	
医学部	医学部（三木町医学部キャンパス） 木田郡三木町大字池戸 1750 番地１	
創造工学部	創造工学部(林町キャンパス) 高松市林町 2217 番地 20	大手前大学（さくら夙川キャンパス） 兵庫県西宮市御茶家所町６－42
農学部	農学部（三木町農学部キャンパス） 木田郡三木町大字池戸 2393 番地	

※　試験場には自動車で入構できません。

※　関西地区試験場となっている大手前大学への問い合わせは，一切しないでください。

⑵ 関西地区試験場について

ア　受験申込

関西地区試験場での受験を希望する者は，出願登録時に「試験場」欄で「関西地区試験場」を選択してください。

なお，出願書類提出後の「試験場」欄の訂正には，一切応じません。

イ　定員

関西地区試験場での受験希望者が施設の収容能力を超える場合は先着順とし，施設の収容能力を超えた受験者は香川大学試験場での受験となります。

ウ　試験場の通知

出願書類を受理した後，試験場を決定します。受験票をダウンロードして印刷した際に，各自で受験票の「試験場」欄を見て確認してください。

決定された試験場の変更はできません。また，別試験場での受験は，いかなる理由があっても認めません。

エ　その他

関西地区試験場には駐車場がありませんので，公共交通機関等を利用してください。

また，関西地区試験場での受験に係る宿泊，交通について，本学では斡旋，案内等は行いません。

〔３〕受験上の注意事項

⑴ 受験票

試験当日は，各自でダウンロードのうえ印刷した「受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず持参してください。

なお，「受験票」又は「願書受理票」は，入学試験個人成績等開示申請の際に必要ですので，大切に保管しておいてください。

⑵ 受験心得

ア　指定された試験場（キャンパス）以外での受験は認めませんので，**試験場（キャンパス）を間違えないよう**注意してください。

イ　各時限とも試験開始から15分以上遅刻した場合は受験できませんので，選択した教科・科目の試験時間をよく確認しておいてください。

ただし，医学部前期日程における外国語，理科，面接，教育学部後期日程における面接については，遅刻を認めません。

ウ　机の上には，筆記用具（医学部はHBの黒鉛筆（シャープペンシル可）のみ），消しゴム，鉛筆削り（小型で手動のもの），時計（計時機能だけのもの），メガネ，ハンカチ，ティッシュペーパー（袋から取り出したもの），目薬以外の携行品を置いてはいけません。

ただし，数学・理科の場合は，定規（三角定規を含む）を使用してもかまいません。総合問題の場合は，色鉛筆，定規（三角定規を含む）を自由に使用してください。

エ　携帯電話，スマートフォン等電子機器の使用は禁止します。所持している場合は，電源を切っておいてください。使用した場合は不正行為とみなすことがあります。

オ　不正行為のあった場合は，直ちに退場してもらいます。

なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

カ　教科・科目に係る個別テスト等についての詳細は，前期日程は２月24日（水）午後，後期日程は３月11日（木）午後に試験場の受験者用掲示板に掲示します。

⑶ 試験当日における車送迎等の自粛について

試験当日は乗用車等の構内への乗り入れができませんので，公共交通機関（又は自転車）を利用してください。

例年，自家用車での受験者送迎により，試験場周辺道路が広範囲にわたって渋滞し，試験実施に支障が生じかねない状況となっています。また，近隣店舗等からも，店舗駐車場への長時間駐車等に関する苦情が寄せられています。公道上はもちろんのこと，近隣店舗や住民等の迷惑となる駐車等は決して行わないでください。

⑷ 入試合否連絡等の詐欺について

試験当日に，香川大学試験場や最寄り駅周辺において，本学職員を装い，「試験の合否を知らせる。」などと言葉巧みに近寄り，アンケートや住所・氏名・電話番号などの個人情報を書かせたり，現金を要求する者がいます。本学職員がそのような行為をすることは一切ありませんので注意してください。

⑸ 麻しん（はしか）の予防接種について

受験者で，麻しんワクチンの接種をしていない場合は，医療機関でのワクチン接種をお勧めします。

５．合格者発表

〔１〕 第１段階選抜合格者の発表（医学部医学科）

2027年２月10日（水）午前９時（予定）

本学ホームページ上において，発表内容を掲載します。

〔２〕 合格者の発表

合格者の発表は，下記の日時に本学のホームページ上で合格者受験番号を掲載するとともに，本人には合格通知書（入学手続に要する書類を含みます。）を送付します。

なお，電話等による問い合わせには応じません。

「前期日程」2027年３月６日（土）午前９時（予定）
「後期日程」2027年３月22日（月）午前９時（予定）

香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp/

６．入学手続

合格者は，合格通知書とともに入学手続書類を送付しますので，入学手続期限（必着）までに教育・学生支援部教育企画課へ「簡易書留・速達」での郵送により手続を行ってください。ただし，最終日に限り，持参による手続を認めます。

所定の期限までに入学手続を完了しない場合には，入学辞退者として取り扱います。

なお，入学手続に関しての詳細は，合格通知書送付時に通知します。

また，一つの国公立大学・学部に入学手続を行った者は，これを取り消して他の国公立大学・学部に入学手続を行うことはできません。

〔１〕入学手続期限

「前期日程」
2027 年３月 15 日（月）17 時まで（必着）

「後期日程」
2027 年３月 27 日（土）17 時まで（必着）

〔２〕入学手続に必要なもの

① 本学所定の誓約書　１部
② 国公立大学入学確認票
③ 学部ごとに必要な書類
④ 納付金

入学料		282,000円（予定）
授業料	（前期分）	321,480円（予定）
	（年　額）	642,960円（予定）

※授業料の改定について，詳細はホームページを確認してください。
https://www.kagawa-u.ac.jp/920271/

（注）１．前期分の授業料については，2027年４月１日から2027年５月31日までの間に納付してください。
また，希望により，前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。
なお，入学時及び在学中に納付金が改定された場合には，改定時から新たな納付金額が適用されます。
２．納入済の入学料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

① 入学手続を行わなかった場合
② 入学料を誤って二重に納入した場合
③ 高等教育の修学支援新制度の入学金・授業料の減免対象者が減免額を誤って納入した場合

3．入学料・授業料の納付が困難な学生のために，免除や徴収猶予の制度があります。入学手続書類送付から手続までの期間が短いため，申請希望者は香川大学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/）で事前に必要書類をご確認ください。

4．入学手続を完了した後，何らかの事情で入学することができなくなった場合は，速やかに入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は，2027年４月１日付けで入学したこととなり，授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

〔３〕入学手続書類送付先

〒760-8521
高松市幸町１番１号
香川大学教育・学生支援部教育企画課

７．追加合格について

合格者の辞退などにより入学定員に欠員が生じた場合は，追加して合格者を決定することがあります。

この場合，追加合格候補者に該当する受験者へ**2027年３月28日（日）から３月31日（水）までの間**（８時から17時まで）に，電話により，入学願書に記載の「連絡先」に行いますので，本人が不在の場合でも連絡が直ちにとれるようにしておいてください。

なお，追加合格者の入学手続等については，追加合格を決定した時点で指示します。

（注）１．本学からの連絡の際，追加合格候補者が不在等のために，本人との連絡・確認ができなかった場合は，入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。
２．追加合格候補者は，発表しません。また，電話等による問い合わせには応じません。

８．追加合格の情報等について

追加合格の情報等については，以下の本学ホームページでご確認ください。

香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp/
期間　2027年３月28日（日）から３月31日（水）

９．欠員補充第２次募集について

追加合格だけでは欠員補充ができないと予測される場合には，2027年３月28日（日）以降に欠員補充第２次募集を行います。欠員補充第２次募集を実施する場合は，報道機関（新聞等）を通じて発表するとともに本学ホームページで情報を提供します。

香川大学ホームページ　https://www.kagawa-u.ac.jp/

※　注意事項　欠員補充第２次募集の出願後，他の国公立大学へ入学手続を行った場合は，受験しても入学許可は得られません。

１０．入試情報の開示について

〔１〕入学者選抜試験における個人成績等の開示

（１）開示内容

試験成績の開示を希望する一般選抜の受験者には，本人の申請により，総合点，大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の科目ごとの得点（合否判定時に採用された科目の得点）及び総合順位を通知します。その際には，受験した学部・学科等における合格者の総合点の最高点，最低点及び平均点についても併せて通知します。なお，総合順位と学部・学科等における合格者の総合点の最高点，最低点及び平均点については，教育学部，法学部，経済学部，創造工学部，農学部にあっては学部別に，医学部にあっては学科別に開示します。

ただし，合格者が10人に満たない学部・学科等の受験者には，総合点，大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト等の科目ごとの得点（合否判定時に採用された科目の得点）のみを通知します。

2027年度入学者選抜試験の成績の開示を希望する者は，下記のとおり申請してください。

（２）申請方法

下記①～③の書類を同封し，郵送（レターパックライト）にて申請してください。**郵送以外での申請は認められませんのでご注意ください。**

① 本学所定の「入学試験個人成績等開示申請書」
（注）申請書の様式は，本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/4192/）からダウンロードしてください。

② 本学の受験票，願書受理票及び大学入学共通テスト受験票のうち，いずれか一つ
いずれも添付できない場合は，運転免許証，マイナンバーカード（表面）等のコピーを添付してください。
なお，提出された受験票等は入学試験個人成績等通知時に返却します。

③ 返信用レターパックプラス（お届け先欄に本人の住所，氏名及び電話番号を記入したもの）
レターパックプラスは二つに折って入れてください。

（３）申請書受理期間

2027年４月９日（金）から2027年５月７日（金）まで（当日消印有効）

（４）申請先

〒760-8521　高松市幸町１番１号　香川大学入試課　TEL(087)832-1182

（５）申請者に対する開示時期

2027年６月中旬ごろに郵送（レターパックプラス）にて本人に通知します。

（６）その他

開示に要する手数料は，無料です。ただし，郵送料は申請者の負担とします。

〔２〕合格者の成績の公表

2027年度の各学部・学科等における一般選抜の合格者の総合点，大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の最高点，最低点及び平均点については，2027年６月に本学が発表する「2028年度入学者選抜要項」及び本学ホームページにより公表する予定です。なお，教育学部，法学部，経済学部，創造工学部，農学部にあっては学部別に，医学部にあっては学科別に開示します。

ただし，合格者が10人に満たない学部・学科等については公表しません。

〔３〕入試問題，解答例または出題の意図の公表について

（１） 香川大学入試課において閲覧できます。

閲覧時間は，９時から17時までです。

※土曜日，日曜日，祝・休日，本学の夏季一斉休業期間（８月中旬）及び12月29日～１月３日を除く。

問い合わせ先：香川大学入試課　TEL(087)832-1182

（２） 本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/past_exam/）で公表します（原則として過去１年分のみ）。

なお，著作権許諾の関係により一部公表できない場合もあります。

公表予定期間は，2027年７月から約１年間（著作権許諾の関係で多少前後します。）です。

１１．障害等のある入学志願者との事前相談について

障害がある等，受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者は，出願に先立ち，あらかじめ本学と相談してください。

また，相談は志願者本人，保護者及び担任教員等，本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

なお，相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので，出願前のできるだけ早い時期に，相談してください。

特に，下表に相当する障害等のある者については，申出がなかった場合，受験の際，障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は，お問い合わせください。

区　　分	障　害　等　の　程　度
視覚障害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病　　弱	・慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で，受験上，修学上特別の配慮を必要とするもの （例）発達障害（ＡＤＨＤ，自閉症等），パニック障害，頻尿

また，医学部に関しては，心身の障害の程度により，卒業後の資格試験（国家試験）に合格しても「医師」「看護師」等の免許が交付されないことがあります。

関係法令等は，医学部ホームページ（https://www.med.kagawa-u.ac.jp/articles/000/000/280/）を参照してください。

〔１〕相談の方法

申請書（本学所定又は本学が必要とする内容が記されたもの，健康診断書等必要書類添付）を提出することとし，必要な場合は，本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

申請書の様式は，本学ホームページ（https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge-2/）からダウンロードしてください。

〔２〕問い合わせ先

香川大学入試課　〒760-8521　高松市幸町1番1号　TEL(087)832-1182

１２．出願資格審査について

本学における個別の入学資格審査により出願しようとする者は，事前審査を行いますので，あらかじめ問い合わせてください。

出願資格審査の概要は以下のとおりです。

〔1〕申請期限

2027年１月15日(金)まで(必着)

〔2〕審査の時期

申請書受理後，随時行うものとします（審査期間として２週間程度を要します。）。

〔3〕 申請書類

① 出願資格審査申請書（本学所定の様式）※
② 修了（卒業）証明書又は修了（卒業）見込証明書
③ 成績証明書又はこれに準ずるもの
④ 修業年限，カリキュラム等が記載された書類
⑤ 返信用封筒（長形３号の封筒に760円分（定形50g以内の簡易書留・速達料金分）の切手を貼り，申請者の住所，氏名及び郵便番号を明記すること。）

※ 本学ホームページで入手できます。
(https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/entrance_exam/admis-judge/)

〔4〕申請書の提出方法及び提出先

申請書類を郵送する場合は，必ず「簡易書留・速達」とし，封筒表面に「出願資格審査申請書在中」と朱書してください。

提出先　〒760-8521　高松市幸町１番１号　香川大学入試課　宛
TEL（087）832－1182

１３．個人情報の取扱いについて

① 出願書類に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報）は，入学者選抜，合格通知及び入学手続を行うために利用します。また同個人情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），授業料及び教育研究活動の支援と本学の発展のための活動に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。
② 入学者選抜における個人成績は，入学者選抜の他，調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析，各種統計資料作成）及び合格者の入学後の教務・学生支援関係業務にのみ使用し，本学の関係教職員以外への提供は行いません。また，調査･研究結果の発表に際しては個人が特定できないように処理します。
③ 国公立大学の入試における合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，合格者の氏名，高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続き等に関する個人情報は，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ送達されます。
④ 提出された出願書類の個人情報を電算処理するため，当該電算処理に係る業務を個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で，外部の事業者に委託することがあります。

１４．その他

〔１〕「地域枠（一般）」で入学した者に支給される香川県医学生修学資金の概要について

地域枠（一般）入学者に支給される修学資金等の概要は次のとおりです。

香川県医学生修学資金

貸 与 額　　月額　120,000 円

貸与期間　　６年間

貸付申請（2027年４月予定）の際には，連帯保証人（独立の生計を営み，修学資金の返還の義務を負担することができる成年者）２人が必要となります。

修学資金返還の免除　大学を卒業し，香川県内の臨床研修病院で２年間の初期研修を修了し，引き続いて知事が指定する香川県内の公立病院等で７年間勤務した場合，貸与額が全額返還免除されます。

詳細は，香川県ホームページ（https://www.pref.kagawa.lg.jp/）から「香川県　医学生修学資金貸付」で検索。

問い合わせ先　香川県健康福祉部医療政策課　TEL（087）832－3321

〔２〕ノート型パソコン必携について

本学では，急速に進む高度情報化社会においてＩＣＴ（情報通信技術）を充分に活用できる能力を有する人材を輩出すること，ＩＣＴを活用した先進的講義手法により教育力を強化すること，各種配布物や提出物のペーパーレス化を推進することなどを目的として，2021年度の入学生から パソコンの必携化を実施しています。機種等の詳細については合格通知後にお知らせします。なお，特別な事情がある場合は入学する学部の学務係（医学部は教務係）までご相談ください。

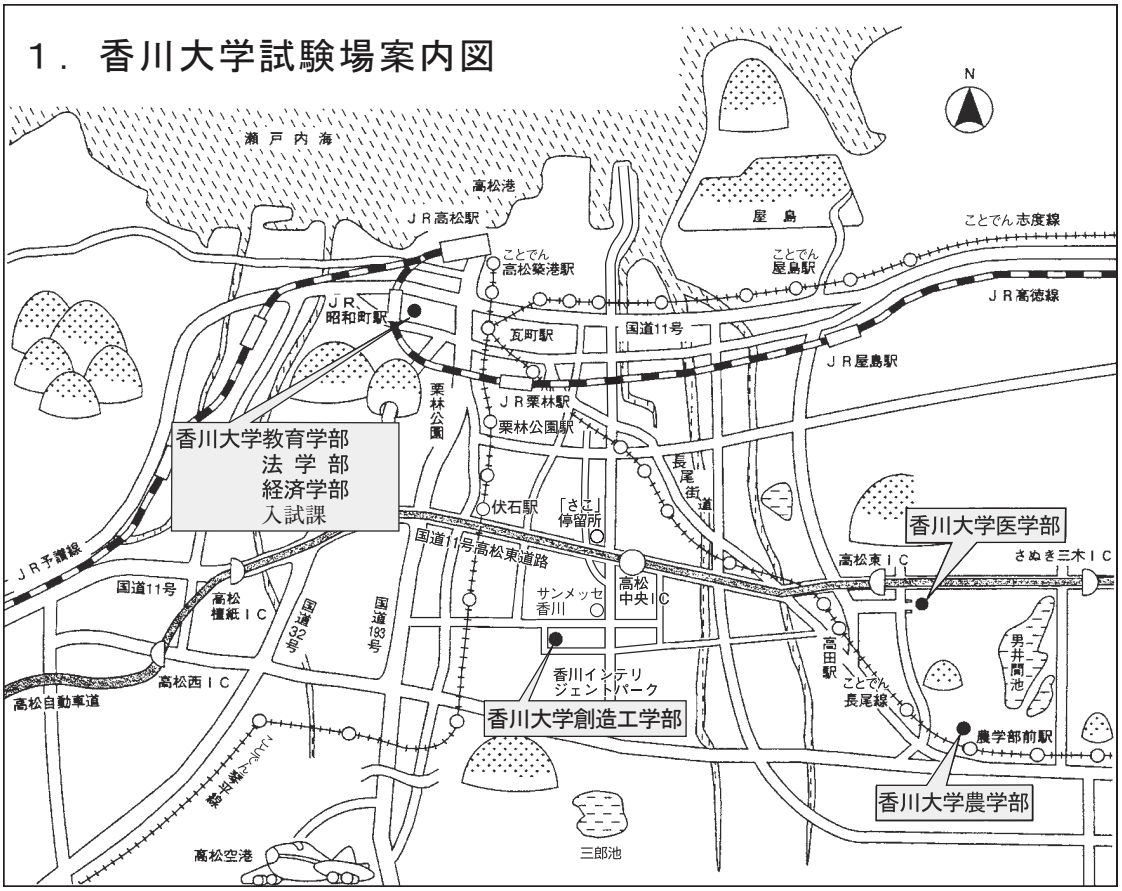
１５．一般選抜に関する照会

一般選抜に関する照会は，下記あてに行ってください。

香川大学入試課	〒760-8521	高松市幸町１番１号 TEL（087）832-1182
香川大学教務課学務係（教育学部担当）	〒760-8522	高松市幸町１番１号 TEL（087）832-1428
香川大学教務課学務第一係（法学部担当）	〒760-8523	高松市幸町２番１号 TEL（087）832-1859
香川大学教務課学務第二係（経済学部担当）	〒760-8523	高松市幸町２番１号 TEL（087）832-1813
香川大学医学部学務課入試係	〒761-0793	木田郡三木町大字池戸 1750 番地 1 TEL（087）891-2074
香川大学創造工学部学務係	〒761-0396	高松市林町2217番地20 TEL（087）864-2007
香川大学農学部学務係	〒761-0795	木田郡三木町大字池戸 2393 番地 TEL（087）891-3015

Ⅳ　試験場案内図

１．香川大学試験場案内図



教育学部･法学部･経済学部・入試課

ＪＲ	高徳線「高松駅」⟶「昭和町駅」下車　徒歩５分（東へ250m）
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前①②番のりば） ことでんバス　11下笠居線・昭和町経由便 「高松駅」⟶「幸　町」下車　徒歩２～３分（西へ150m） ことでんバス　13下笠居線・宮脇町経由便又は15イオン高松線（南ルート） 「高松駅」⟶「宮脇町」下車　徒歩２～３分（北へ150m） ことでんバス　まちなかループバス　1東廻り　2西廻り 「高松駅」⟶「香川大学教育学部前」下車すぐ 「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ 高松空港発 空港連絡バス⟶「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車　徒歩10分～15分（西へ750m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学　約10分　約800円

医　学　部

電　車	ことでん長尾線「高松築港駅」⟶「高田駅」下車　バス５分　又は　徒歩25分（北東へ1.5km）
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前⑦番のりば） ことでんバス　75大学病院線 「高松駅」⟶「大学病院」下車　徒歩１分（北へ50m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学医学部　約30分　約4,000円

創造工学部

電　車	ことでん琴平線「高松築港駅」⟶「伏石駅」下車　バス約10分 ことでんバス　伏石駅サンメッセ線　「香川大学創造工学部前」下車すぐ
バス	ＪＲ高松駅発（高松駅前⑧番のりば） ことでんバス　65川島線・レインボー通り経由便 「高松駅」⟶「香川大学創造工学部前」下車　徒歩１分（南へ50m） ことでんバス　61川島線・サンメッセ香川経由便 「高松駅」⟶「サンメッセ香川」下車　徒歩10分（西へ500m）
高速バス	高速バス「高松中央インター南」下車　北西へ徒歩３分（200m）　又は 「高松中央インターバスターミナル」下車　西へ徒歩５分（380m） ↓ ことでんバス　61川島線・サンメッセ香川経由便 63西植田線 「さこ」⟶「サンメッセ香川」下車　徒歩10分（500m） ※徒歩の場合，「高松中央インター南」から創造工学部まで約25分（約1.8km） 「高松中央インターバスターミナル」から創造工学部まで約30分（約2.0km）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学創造工学部　約30分　約3,500円

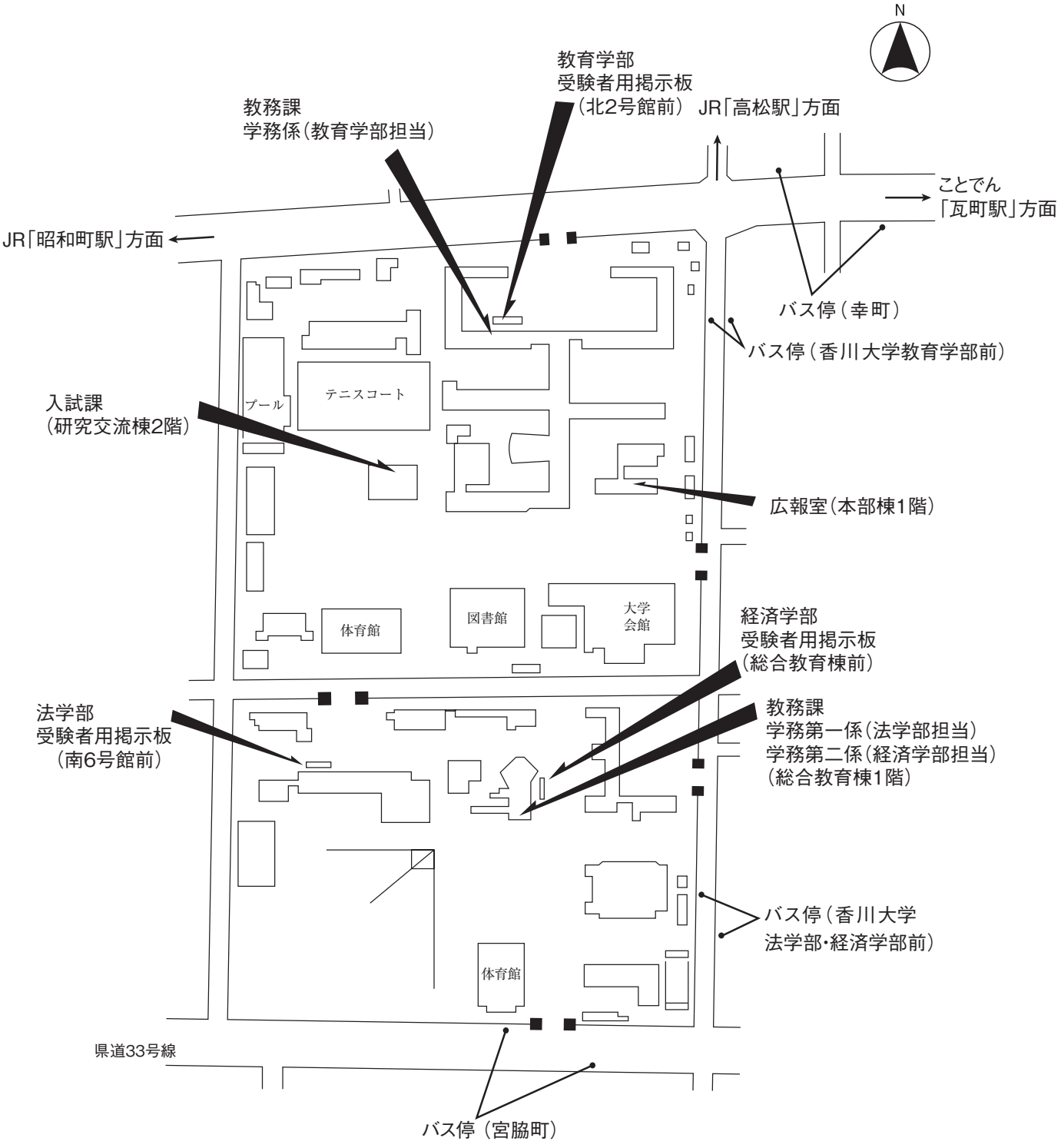
農　学　部

電　車	ことでん長尾線「高松築港駅」⟶「農学部前駅」下車　徒歩２分（北へ100m）
バス	大川バス　引田線（高松駅前⑧番のりば）「高松駅」⟶「農学部前」下車　徒歩５分（北へ250m）
タクシー	ＪＲ高松駅⟶香川大学農学部　約40分　約4,400円

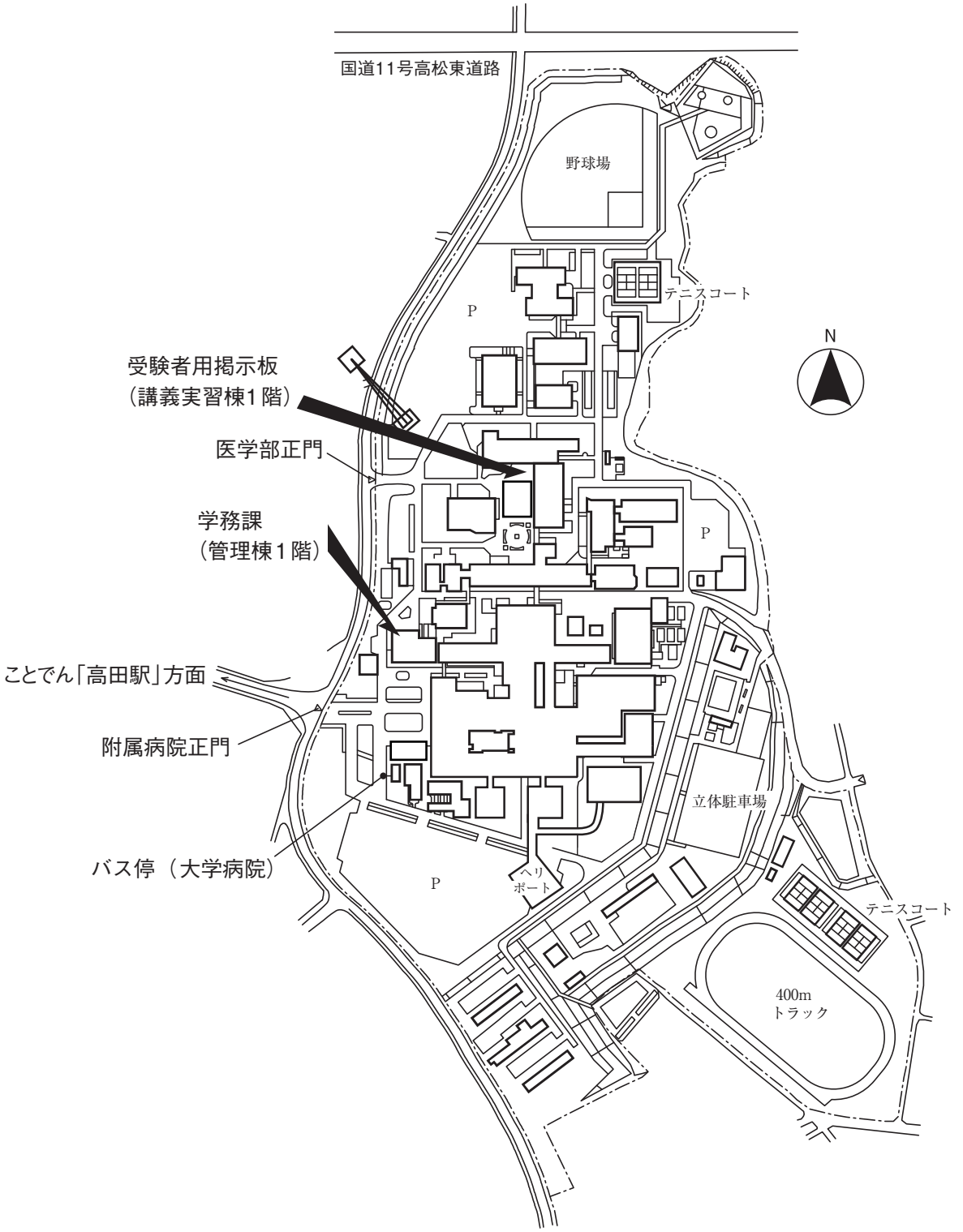
（注）電車，バス等の運行時刻については，受験者各自で確認してください。また，バス路線等については，変更になる場合もあるので注意してください。

2．香川大学建物配置図

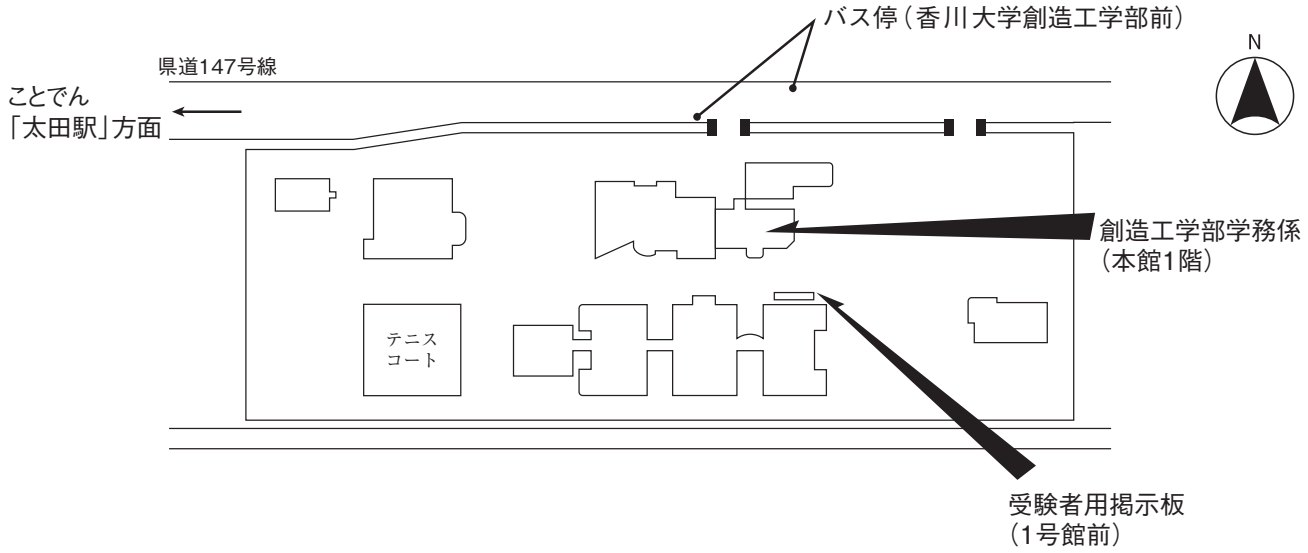
幸町北キャンパス（教育学部）
幸町南キャンパス（法学部・経済学部）



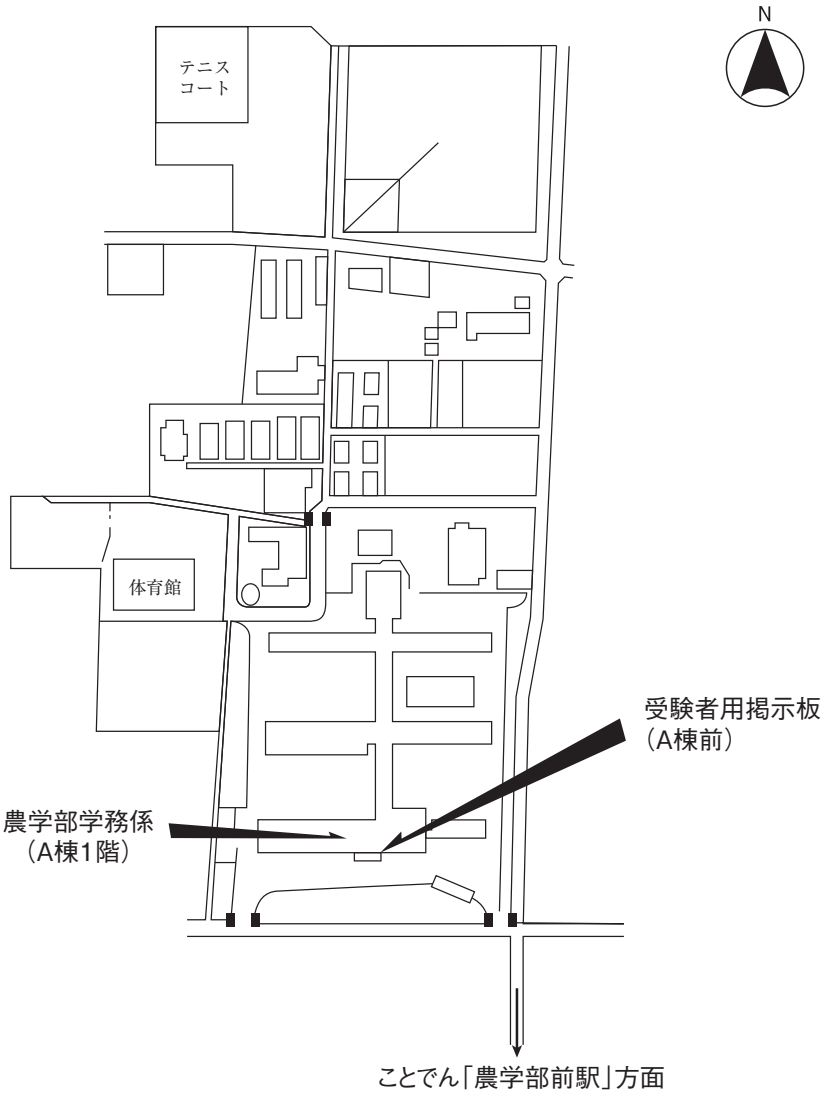
三木町医学部キャンパス（医学部）



林町キャンパス（創造工学部）



三木町農学部キャンパス（農学部）

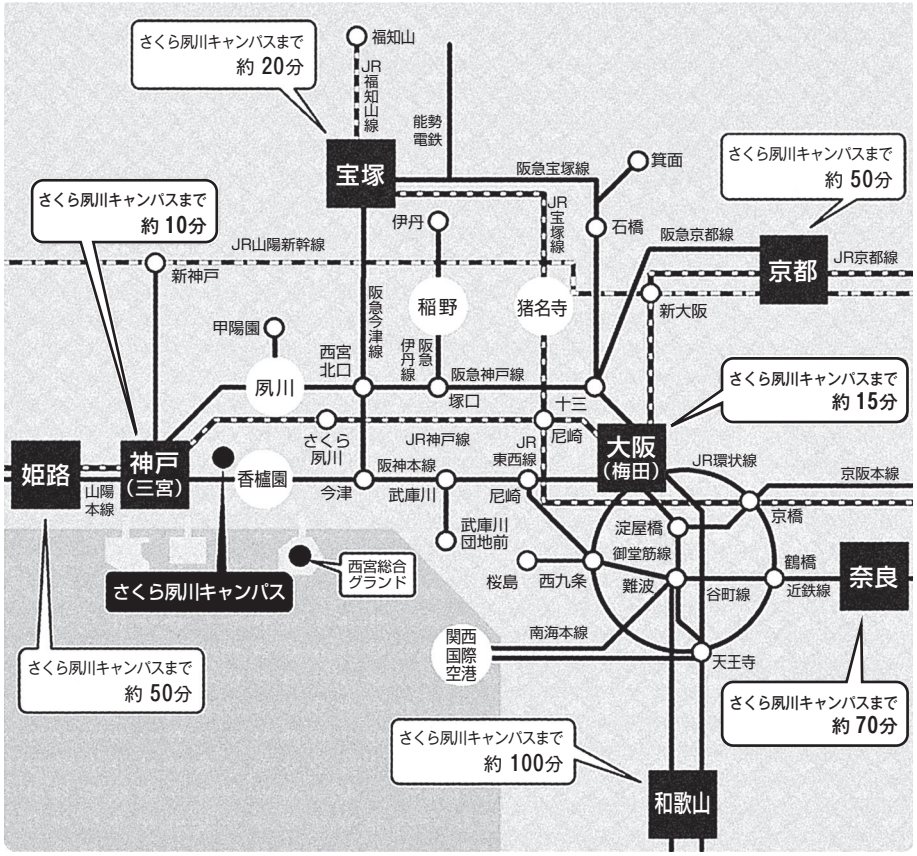


３．香川大学関西地区試験場案内図

大手前大学（さくら夙川キャンパス）

〒662-8552　兵庫県西宮市御茶家所町６－42

広域アクセスマップ



さくら夙川キャンパス
主要な駅からの所要時間

- 大阪（梅田）から15分
- 神戸（三宮）から10分
- 京都から50分
- 宝塚から20分
- 姫路から50分
- 奈良から70分
- 和歌山から100分

※時間帯や乗り継ぎ等により異なる場合があります。

さくら夙川キャンパス



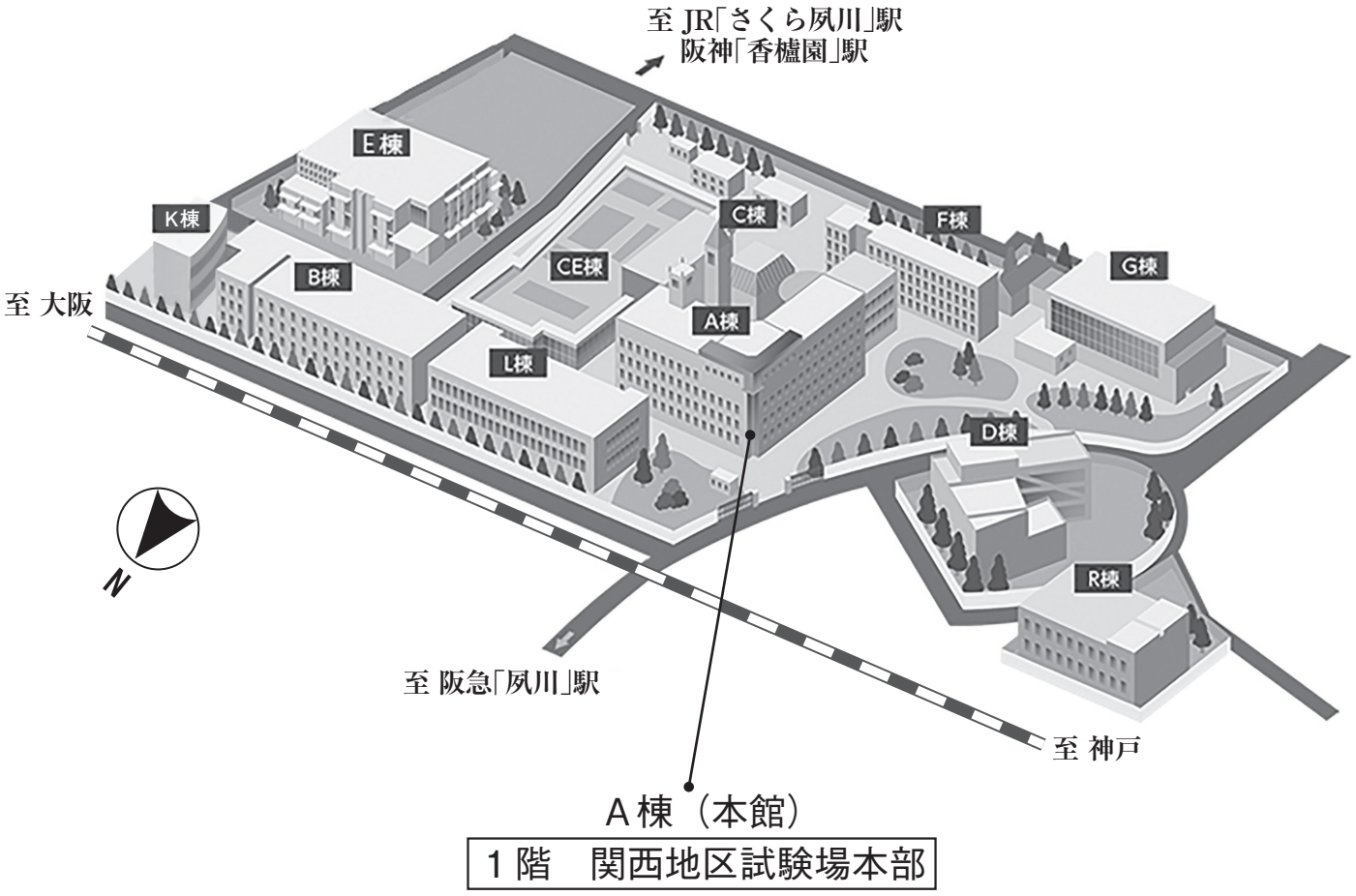
最寄り駅からの所要時間

- ＪＲさくら夙川駅から徒歩７分
- 阪急夙川駅から徒歩７分
- 阪神香櫨園駅から徒歩７分

４．香川大学関西地区試験場建物配置図

大手前大学（さくら夙川キャンパス）

キャンパス地図



A棟（本館）

１階　関西地区試験場本部

入 学 試 験 等 に 関 す る 照 会 先

香川大学入試課	ＴＥＬ（０８７）８３２－１１８２ 〒760-8521　高松市幸町１番１号
香川大学教務課学務係 （教育学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１４２８ 〒760-8522　高松市幸町１番１号
香川大学教務課学務第一係 （法学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１８５９ 〒760-8523　高松市幸町２番１号
香川大学教務課学務第二係 （経済学部担当）	ＴＥＬ（０８７）８３２－１８１３ 〒760-8523　高松市幸町２番１号
香川大学医学部学務課入試係	ＴＥＬ（０８７）８９１－２０７４ 〒761-0793　木田郡三木町大字池戸1750番地1
香川大学創造工学部学務係	ＴＥＬ（０８７）８６４－２００７ 〒761-0396　高松市林町2217番地20
香川大学農学部学務係	ＴＥＬ（０８７）８９１－３０１５ 〒761-0795　木田郡三木町大字池戸2393番地
香川大学ホームページ	https://www.kagawa-u.ac.jp/

インターネット出願の操作方法に関する照会先

インターネット出願専用コールセンター

ＴＥＬ（０７５）３４１－８６２０

※受付期間　2027年１月22日（金）　９:00～17:00

2027年１月25日（月）～２月２日（火）　９:00～20:00（土日を含む）

出願最終日　２月３日（水）　９:00～17:00

～　不測の事態発生時等における諸連絡について　～

災害等の不測の事態が発生し，入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については，上記の本学ホームページ等でお知らせしますので，ご確認ください。

また，入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので，試験当日まで注意してご覧ください。